

2018 年度 活動レポート



(C)JICA/Takeshi Kuno



(C)JICA/Sayad Jan Sabawoon



(C)JICA/Shinichi Kuno



(C)JICA/Shinichi Kuno

独立行政法人 国際協力機構
中国センター (JICA 中国)



目次

第1部 過去10年の事業実績

1 研修員受入事業実績	1
2 JICA 海外協力隊事業実績	2
3 草の根技術協力事業実績	4
4 民間連携事業実績	6
5 開発教育支援・市民参加協力推進事業実績	8

第2部 2018年度 事業実績・参考資料

1 事業実績	
研修員受入実績	11
JICA 海外協力隊新規派遣実績	15
市民向け事業実績	16
JICA 中国施設訪問受入実績	17
国際教育研修会	19
教師海外研修実績	20
教育行政及び教員組織との連携実績	21
高校生国際協力体験プログラム	22
海外視察等に関する支援・便宜供与実績	23
職場体験受入実績	23
海外記者派遣実績	24
JICA ボランティアによる「原爆展」開催実績	25
2 参考資料	
主な関係団体(中国5県)	27
国際協力機構の組織図	28
JICA 中国の沿革	29
JICA 中国の組織図・業務内容	30

第1部 過去10年の事業実績

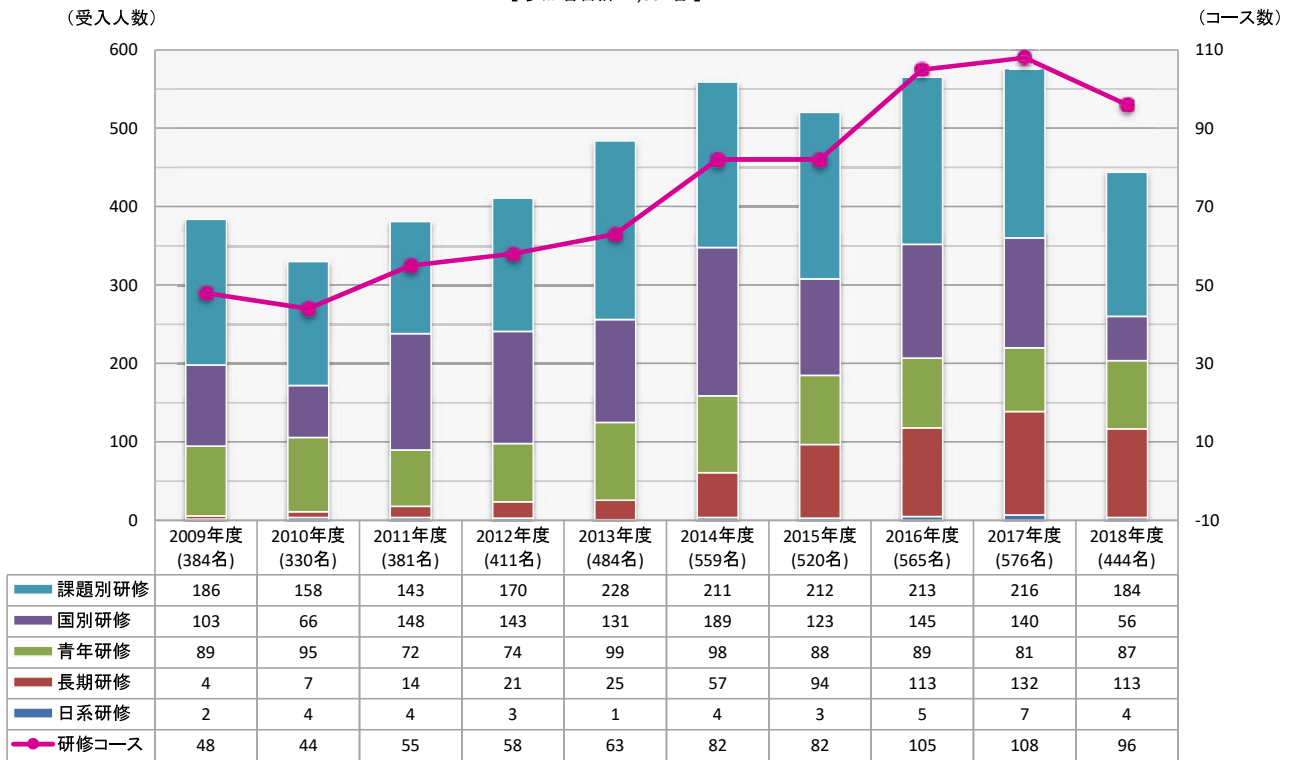
1. 研修員受入事業実績

JICAは、開発途上国の国づくりの中核となる人材を育成する目的で、毎年およそ150か国から1万人を超える技術者や行政官などを、各国政府からの要請に基づき研修員として受入れています。研修員は、国づくりに必要な技術や知識を習得し、また、日本で生活することを通して、日本の伝統・文化に対する理解を深めて帰国し、それぞれの国の発展に貢献することが期待されています。中国5県を所管するJICA中国では、人類初の原爆投下から復興した経験に基づく平和構築や、国内有数の教員養成の実績に根差した基礎教育、日本の産業構造の縮図と言われる中国地方の知見を活かした民間セクター開発といった、この地域が有する強みを活かした研修事業を展開しています。



研修員受入人数の推移

【参加者合計 4,664名】

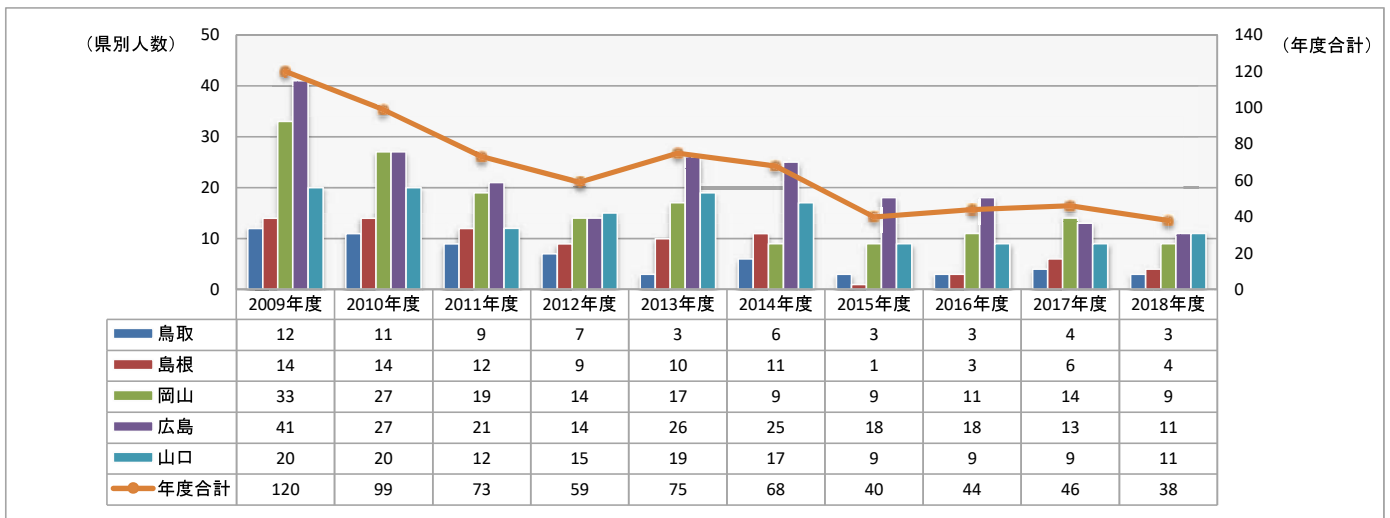


2.JICA海外協力隊事業実績

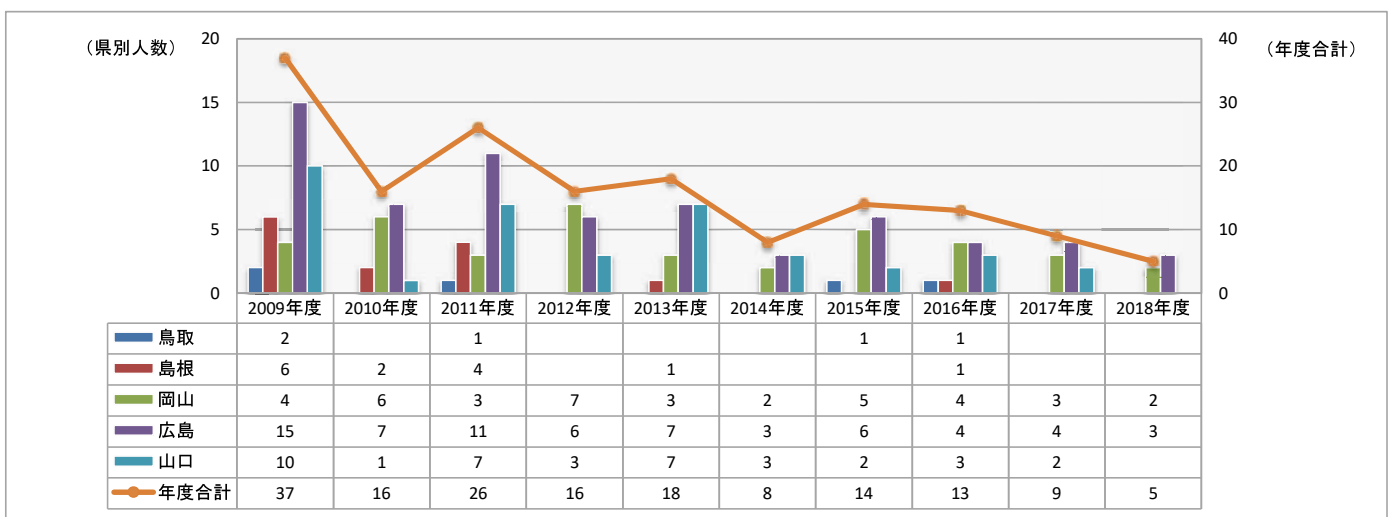
JICAは、開発途上国からの要請(ニーズ)に基づき、それに見合った技術・知識・経験を持ち、「開発途上国の人々のために生かしたい」と望む方を募集し、選考、訓練を経てJICA海外協力隊として派遣します。JICA海外協力隊は大きく分けて、青年海外協力隊、日系社会青年海外協力隊と、一定以上の経験・技能等が必要となるシニア海外協力隊、日系社会シニア海外協力隊があります。JICA海外協力隊事業は1965年に開始され50年以上の歴史があります。JICA中国は、募集広報の他、帰国隊員の報告会、学校や各種セミナー・イベント等でのボランティア事業の紹介など、JICA海外協力隊事業の理解促進のための様々な活動を行っています。



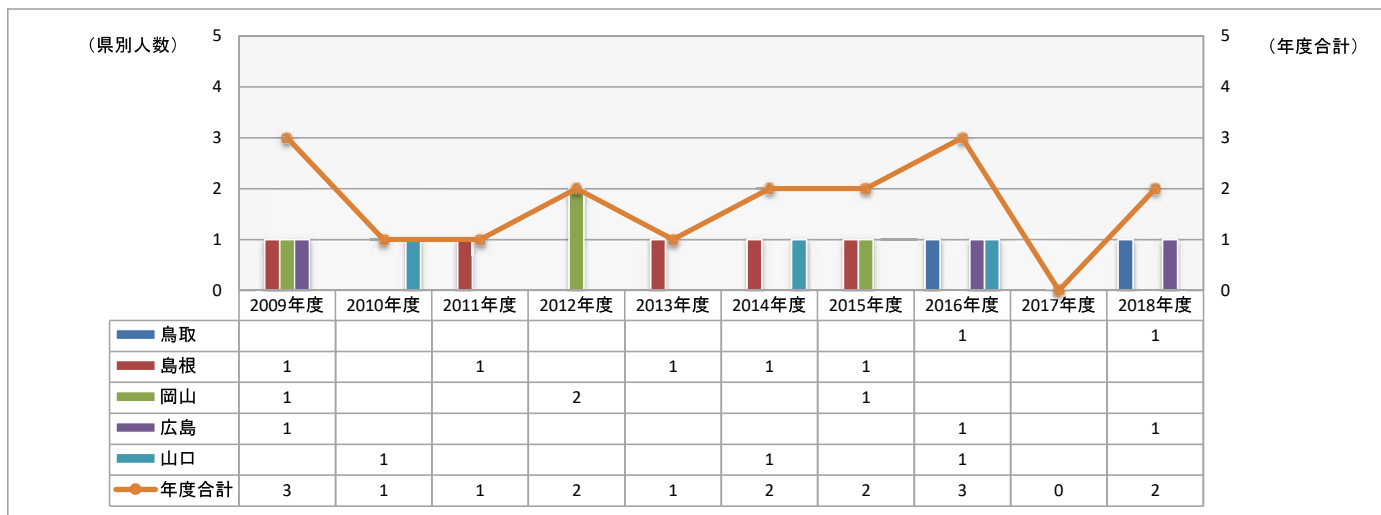
(1) 青年海外協力隊派遣実績



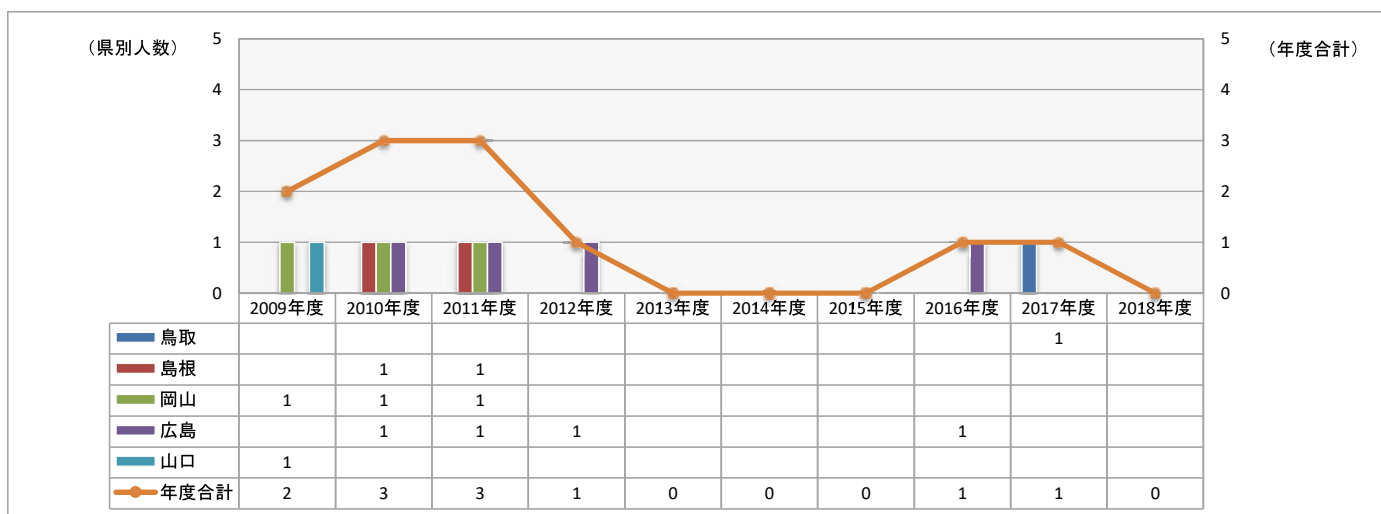
(2) シニア海外ボランティア派遣実績



(3) 日系社会青年ボランティア派遣実績



(4) 日系社会シニア・ボランティア派遣実績



3.草の根技術協力事業実績

草の根技術協力事業は、国際協力の意思をもっている日本のNGO、大学、地方自治体及び公益法人などの団体からの提案を受け、開発途上国への国際協力活動について、JICAがNGOなどの団体との共同事業として実施するものです。協力期間は、3年以内(但し草の根パートナー型は5年度内)です。団体の規模や種類に応じ、草の根協力支援型、草の根パートナー型、地域提案型の3種類の事業形態があります。



(1)草の根協力支援型

国名	案件名	実施県	実施団体名	実施期間
インドネシア	エンレンカン県農研修センター運営支援プロジェクト	島根	三瓶スラウエシ友好促進センター	2006年4月5日～2009年3月31日
ラオス	ラオス国ルアンナムター県ナムハー地区における農林業による村おこし	岡山	アジア農村協力ネットワーク	2008年7月1日～2011年5月31日
アルゼンチン	ママ・パパ・家族でできる障害児発達アルゼンチンに障害児発達指導員を	島根	南米ひとねっとハボン	2009年4月6日～2011年3月31日
フィリピン	マニラ首都圏低所得者層地域における生活の質改善を目指した糖尿病予防プロジェクト	鳥取	国立大学法人鳥取大学	2016年2月3日～2020年1月30日
ブータン	ブータン王国における美術教育支援事業	島根	公益財団法人浜田市教育文化振興事業団	2017年8月22日～2020年8月21日
ベトナム	高齢化対策としての介護予防事業の支援	岡山	社会福祉法人やすらぎ福祉会	2017年11月12日～2020年10月30日

(2)草の根パートナー型

国名	案件名	実施県	実施団体名	実施期間
ホンジュラス	エルパライス県母子保健向上支援事業	岡山	特定非営利活動法人AMDA社会開発機構	2007年8月10日～2010年1月31日
ザンビア	カニヤマ及びマケニ地区における結核・エイズ統合支援事業	岡山	特定非営利活動法人AMDA社会開発機構	2008年6月2日～2010年11月30日
カンボジア	小学校体育科教育振興プロジェクト	岡山	特定非営利活動法人ハート・オブ・ゴールド	2009年6月25日～2012年6月24日
中華人民共和国	江西省高齢者介護教員養成事業	岡山	社会福祉法人旭川荘	2009年7月1日～2012年3月31日
ホンジュラス	エルパライス県母子保健向上支援事業フェーズ2	岡山	特定非営利活動法人AMDA社会開発機構	2010年1月26日～2012年3月31日
ネパール	ナワルパラン郡4行政村における母子健康改善事業	岡山	特定非営利活動法人AMDA社会開発機構	2010年11月1日～2013年3月31日
中華人民共和国	上海医療福祉関係人材養成事業	岡山	社会福祉法人旭川荘	2011年9月13日～2014年3月31日
カンボジア	カンボジア小学校体育科教育 自立的普及に向けた人材育成及び体制構築のための事業	岡山	特定非営利活動法人ハート・オブ・ゴールド	2013年4月1日～2016年9月30日
ホンジュラス	エル・パライス県南部3市における母子のプライマリーヘルスケア向上プロジェクト	岡山	特定非営利活動法人AMDA社会開発機構	2014年8月1日～2016年10月31日
ベトナム	ベトナム医療技術支援(循環器疾患領域)	岡山	国立大学法人岡山大学	2016年9月1日～2020年3月31日
カンボジア	カンボジア王国 中学校体育科教育指導書作成支援・普及プロジェクト	岡山	特定非営利活動法人ハート・オブ・ゴールド	2017年1月13日～2020年9月30日
ホンジュラス	エル・パライス県バド・アンチョ市における栄養改善に向けた家庭菜園普及プロジェクト	岡山	特定非営利活動法人AMDA社会開発機構	2017年8月18日～2019年12月27日
ネパール	シンドゥバルチョーク郡農家のグループ化による営農改善と日本の過疎地域の経験を活用した生計向上事業	広島	特定非営利活動法人ピースウィンズ・ジャパン	2018年1月10日～2021年1月9日

(3)地域提案型

国名	案件名	実施県	実施団体名	実施期間
中華人民共和国	日中療育技術交流事業	鳥取	鳥取県立総合療育センター	2006年10月16日～2009年3月31日
中華人民共和国	寧夏回族自治区における汚泥総合利用技術の確立	島根	島根県	2007年8月20日～2010年3月31日
カンボジア	カンボジアにおける小学校教員の授業能力の向上	広島	ひろしま平和貢献ネットワーク協議会	2008年10月1日～2011年3月31日
中華人民共和国	安順市における環境保全管理研修	山口	宇部環境国際協力協会	2009年8月18日～2012年3月31日
中華人民共和国	中国寧夏回族自治区農村部等での汚水処理・汚泥・家畜糞尿有効活用	島根	島根県	2010年6月21日～2013年2月28日
モンゴル	モンゴル中央集約中央病院における妊産婦の健康管理向上プロジェクト～妊娠高血圧症候群の「予防」「発見」「治療」の技術移転～	鳥取	鳥取県立中央病院	2010年5月28日～2013年2月28日
カンボジア	タケオ州における授業研究による教員の授業能力の向上	広島	ひろしま平和貢献ネットワーク協議会	2011年5月19日～2014年3月17日

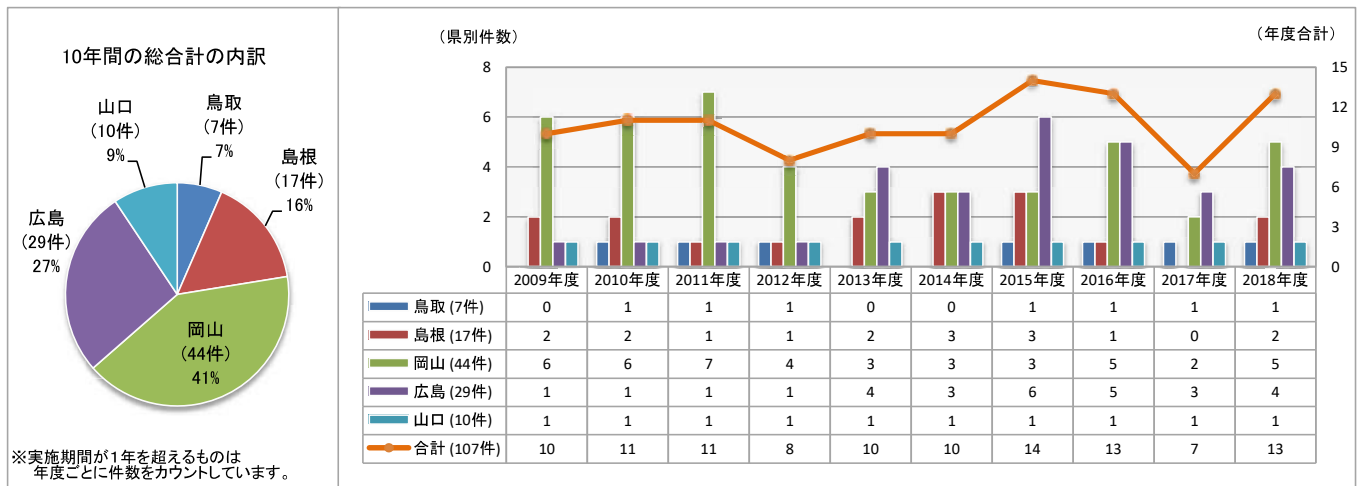
国名	案件名	実施県	実施団体名	実施期間
ベトナム	医療技術支援(循環器疾患領域)	岡山	岡山大学病院心臓血管外科、岡山市	2011年11月1日～2014年3月24日
インドネシア	ブンカリス県における環境改善協力	山口	宇部環境国際協力協会	2012年11月19日～2015年3月23日
ブータン	ブータン王国における手すき紙の産業振興	島根	石州和紙協同組合	2013年8月20日～2016年3月31日

(4)地域経済活性化特別枠

国名	案件名	実施県	実施団体名	実施期間
中華人民共和国	中国・寧夏回族自治区における水環境改善のための流域管理計画の構築	島根	島根県	2013年8月7日～2016年3月31日
フィリピン	フィリピン・ミンダナオのパンサモロ自治政府人材育成事業～広島による平和構築の支援～	広島	国立大学法人広島大学	2014年1月24日～2016年3月31日
カンボジア	カンボジアにおける持続可能な社会構築のための教育改善	広島	ひろしま平和貢献ネットワーク協議会	2014年3月17日～2016年9月30日
モルディブ	IT農業イノベーションによる新産業の創出	広島	有限会社上野園芸	2014年3月20日～2016年12月31日
ブラジル	サンパウロ州小学校教員の環境教育指導力向上事業	島根	公益財団法人しまね国際センター	2014年8月21日～2017年2月28日

(5)地域活性化特別枠

国名	案件名	実施県	実施団体名	実施期間
フィリピン	タルラック州カバス町における高齢者介護予防の意識向上事業	岡山	社会福祉法人 ももたろう会	2015年3月23日～2017年3月31日
フィリピン	フィリピン・ミンダナオのパンサモロ自治政府人材育成強化事業～平和構築支援を通じたグローバル・ヒロシマの形成～	広島	国立大学法人 広島大学	2015年12月2日～2018年11月30日
インドネシア	ボゴール市における一般廃棄物処理改善事業	広島	ひろしま環境ビジネス推進協議会	2016年1月18日～2018年3月31日
インドネシア	典型的な熱帯泥炭地ブンカリス地区における水道水質の改善～宇部方式の支援による環境基本計画に基づいて～	山口	宇部環境国際協力協会	2016年3月30日～2019年2月28日
カンボジア	カンボジアにおける持続可能な社会構築のための社会科カリキュラム・教科書開発支援	広島	ひろしま平和貢献ネットワーク協議会	2016年3月31日～2020年3月30日
フィリピン	タルラック州カバス町における高齢者介護予防の普及および体制構築事業	岡山	社会福祉法人 ももたろう会	2017年9月22日～2020年8月31日
ブラジル	サンパウロ州カサパーバ市における環境教育推進事業	島根	公益財団法人しまね国際センター	2017年8月8日～2020年6月30日
モンゴル	塵肺症および石棉(アスベスト)曝露による呼吸器疾患の早期診断能力の向上プロジェクト	広島	特定非営利活動法人総合遠隔医療支援機構	2018年6月1日～2021年5月31日



4.民間連携事業実績

JICAは、中小企業の優れた製品や技術を途上国の開発に活用することで、途上国の開発課題の解決と、日本の国内経済の活性化を目指しています。途上国の開発ニーズと日本の中小企業の優れたマッチングを行ないます。

中小企業が持つ優れた技術と商材、事業アイデアを途上国の社会経済開発に活かすため、当該国への進出に向けた調査をサポートする「基礎調査」、製品・技術を途上国の開発に活用する可能性を検討することを目的とした「案件化調査」、途上国の社会経済の課題解決に有効に活用し得る製品・技術を、当該国での実証活動を通じ、その普及方法を検討する「普及・実証・ビジネス化事業」など、中小企業の海外展開の準備段階に応じ、多数の支援メニューを取り揃えています。

※一部中小企業に限定されない本邦登記法人を対象としたメニューがあります。



(1)基礎調査

国名	案件名	実施県	実施団体名	実施期間
ペルー	日本の天然資源を活用した水質浄化事業調査(中小企業連携促進)	島根	株式会社ネオナイト、一般財団法人日本国際協力システム、カーボンフリーコンサルティング株式会社 共同企業体	2014年2月 ~ 2014年12月
ミャンマー	「ヤンゴン・マンダレー・ムセ」幹線間における高品質な両荷物物流事業実現に向けた事業基礎調査	広島	株式会社エムケー	2016年6月 ~ 2017年4月
インド	新たな米加工品(調理済食品)の現地生産体制構築・ビジネス化に関する基礎調査	島根	アルファー食品株式会社	2017年8月 ~ 2018年5月
インドネシア	インドネシアにおける鱈の陸上養殖技術基礎調査	岡山	ジャパンマリンポニックス株式会社	契約解除
インド	高強度コンクリート製造の為に高品質で持続可能な人工砂製造に関する基礎調査	岡山	晃立工業株式会社	2018年5月~2019年7月

(2)案件化調査

国名	案件名	実施県	実施団体名	実施期間
インドネシア	防災・環境保全及び環境再生技術の展開・普及可能性調査	山口	多機能フィルター株式会社、国立大学法人山口大学 共同企業体	2012年10月~2013年2月
ソロモン諸島等	ソロモン諸島及びその他太平洋諸島における環境配慮型トイレ導入調査	鳥取	大成工業株式会社、オリジナル設計株式会社 共同企業体	2012年12月~2013年3月
フィリピン	地域分散型バイオエタノール製造システム普及案件化調査	島根	株式会社IBコンサルタント、株式会社ワールド・ビジネス・アソシエイツ、株式会社国際広報企画 共同企業体	2013年8月~2014年3月
インドネシア	産業インフラ設備検査技術改善・向上を目的としたODA案件化調査	広島	中外テクノス株式会社、有限責任監査法人トーマツ 共同企業体	2013年9月~2014年3月
ベトナム	医療の質を高める地域医療情報ネットワークシステム案件化調査	島根	株式会社テクノプロジェクト、株式会社富士通総研 共同企業体	2013年10月~2014年3月
ミャンマー	イラワジ川流域における低吃水軽量台船を活用した農産物及び関連資材輸送システムの案件化調査	広島	SAマリン有限公司、株式会社野村総合研究所 共同企業体	2013年10月~2014年3月
タンザニア	もみ殻を原料とした固形燃料製造装置の導入案件化調査	広島	株式会社トロムソ、株式会社イースクエア 共同企業体	2013年11月~2014年3月
ラオス	ラオス国における効率的な炭製造方法の普及に関する案件化調査	島根	有限会社山本粉炭工業	2014年11月 ~ 2015年10月
インド	高濃度酸素水供給装置によるダム湖の水源機能再生案件化調査	島根	松江土建株式会社	2015年5月~2016年5月
ベトナム	軟弱地盤地域におけるTNF工法(地盤改良型直接基礎構造)普及に向けた案件化調査	広島	株式会社タケウチ建設	2015年7月 ~ 2016年6月
インドネシア	水道インフラ管理システムの高度化を通じた水道運営改善案件化調査	広島	株式会社パイプデザイン	2015年10月 ~ 2016年9月
インド	コチ市の廃棄物処分場におけるコンポスト製造高速化技術導入案件化調査	鳥取	三光株式会社	2015年9月 ~ 2016年11月
フィリピン	ウニの沿岸完全養殖・加工システムの事業展開に関する案件化調査	島根	株式会社社員援隊、中浦食品株式会社 共同企業体	2015年10月 ~ 2016年6月
スーダン	小規模組合方式によるタマネギ乾燥加工技術導入を通じた農生産者組合の収入向上案件化調査	岡山	大紀産業株式会社	2015年10月 ~ 2016年11月
メキシコ	重化学工業分野の省エネに関する案件化調査	広島	ADAPTEX株式会社	2015年11月 ~ 2016年8月
スリランカ	カキ殻を活用した自己処理型水洗式バイオトイレの導入に関する案件化調査	広島	永和国土環境株式会社、株式会社八杉商店 共同企業体	2016年6月 ~ 2017年4月
フィリピン	廃棄物固形化燃料(RPF)の導入のための案件化調査	広島	株式会社オガワエコノス	2016年6月 ~ 2017年7月
インド	環境配慮型トイレの導入にかかる案件化調査	鳥取	大成工業株式会社	2016年6月 ~ 2017年9月
ベトナム	都市生活ごみを含む有機系廃棄物の資源化による環境改善に関する案件化調査	岡山	CANホールディングス株式会社	2016年8月 ~ 2017年9月
マレーシア	使用済み紙おむつリサイクルシステム案件化調査	鳥取	株式会社スーパー・フェイス	2016年11月 ~ 2017年10月

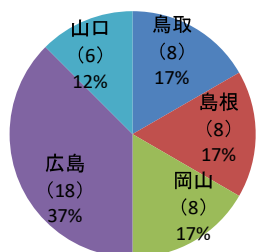
ミャンマー	イ草の栽培および加工・製造技術の導入に係る案件化調査	岡山	株式会社大島屋	2016年11月～2018年10月
メキシコ	シェルナースを用いた持続可能な漁業に係る案件化調査	岡山	海洋建設株式会社	2017年4月～2018年5月
セネガル	直流駆動ポンプを活用したソーラーポンプシステムによる小規模地方給水施設整備事業案件化調査	広島	テラル株式会社	2017年5月～2018年6月
インドネシア	農業生産性向上のためのシートパイプシステム導入に関する案件化調査	山口	協和建設工業株式会社	2017年5月～2018年8月
インドネシア	バリ州における浄化槽の包括的な維持管理体制の構築による環境改善案件化調査	山口	株式会社アースクリエイティブ	2017年6月～2018年2月
インドネシア	森林・泥炭火災に対するゲルパック消火剤を用いた消火システム導入に係る案件化調査	鳥取	株式会社イルカカレッジ	2017年6月～2018年3月
スリランカ	飲料水浄化装置案件化調査	広島	株式会社Emax	2017年9月～2018年8月
タイ	インフラメンテナンスコスト抑制のためのスケルトン防災コーティング導入にかかる案件化調査	山口	株式会社エムピーエス	2018年4月～2019年1月
ブラジル	超高压処理を用いた高付加価値食品産業振興に関する案件化調査	広島	株式会社東洋高圧	2018年5月～2019年6月
ミャンマー	ヤンゴン市における交通事故対策のための反射式道路標識導入にかかる案件化調査	山口	株式会社ミカド交設	2018年6月～2019年7月
ラオス	耐久性の高い道路整備を可能にするコンクリート二次製品の導入に向けた案件化調査	岡山	株式会社三幸工務店、岡山コンクリート工業株式会社 共同企業体	2019年1月～2020年6月

(3) 普及・実証・ビジネス化事業

国名	案件名	実施県	実施団体名	実施期間
インドネシア	防災・環境保全及び環境再生技術の普及・実証事業	山口	多機能フィルター株式会社	2013年9月～2016年2月
南アフリカ共和国	持続的廃棄物管理に向けた廃プラスチック燃化技術の普及・実証事業	広島	株式会社CFP、株式会社カネミヤ 共同企業体	2014年3月～2016年9月
タンザニア	もみ殻を原料とした固形燃料製造装置の普及・実証事業	広島	株式会社トロムソ	2014年9月～2017年5月
インドネシア	産業インフラ設備検査技術改善・向上の普及・実証事業	広島	中外テクノス株式会社	2015年1月～2017年5月
ミャンマー	イラワジ川流域における低吃水軽量台船の普及・実証事業	広島	SAマリン有限公司	2015年2月～2016年10月
ベトナム	医療の質を高める地域医療情報ネットワークシステムの普及・実証事業	鳥根	株式会社テクノプロジェクト	2015年2月～2016年9月
モロッコ	乾燥地節水型農業技術普及・実証事業	鳥取	株式会社鳥取再資源化研究所	2015年6月～2017年11月
ペルー	ネオナイト工法を活用した水質浄化普及実証事業	鳥根	株式会社ネオナイト	2016年10月～2018年12月
ペルー	乾燥地節水型農業技術普及・実証事業	鳥取	株式会社鳥取再資源化研究所	2018年3月～2021年9月
インド	環境配慮型トイレの導入にかかる普及・実証事業	鳥取	大成工業株式会社	2018年6月～2021年1月
スリランカ	自己処理型水洗式バイオトイレの普及・実証事業	広島	永和国土環境株式会社、株式会社八杉商店 共同企業体	2018年9月～2021年10月
スーダン	農産物乾燥加工技術導入を通じたタマネギの付加価値創出に向けた普及・実証事業	岡山	大紀産業株式会社	2018年10月～2020年12月

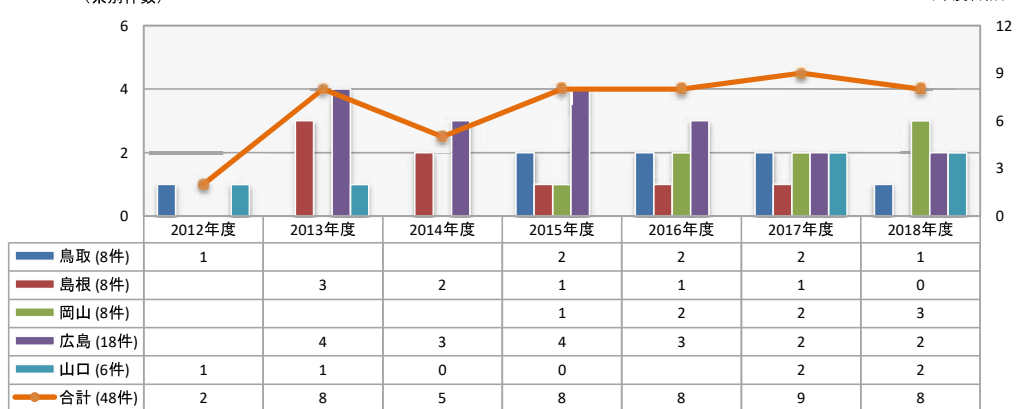
7年間の総案件数

※ 契約期間が複数年度に跨る場合は、契約締結年度のみカウントしています。



(県別件数)

(年度合計)



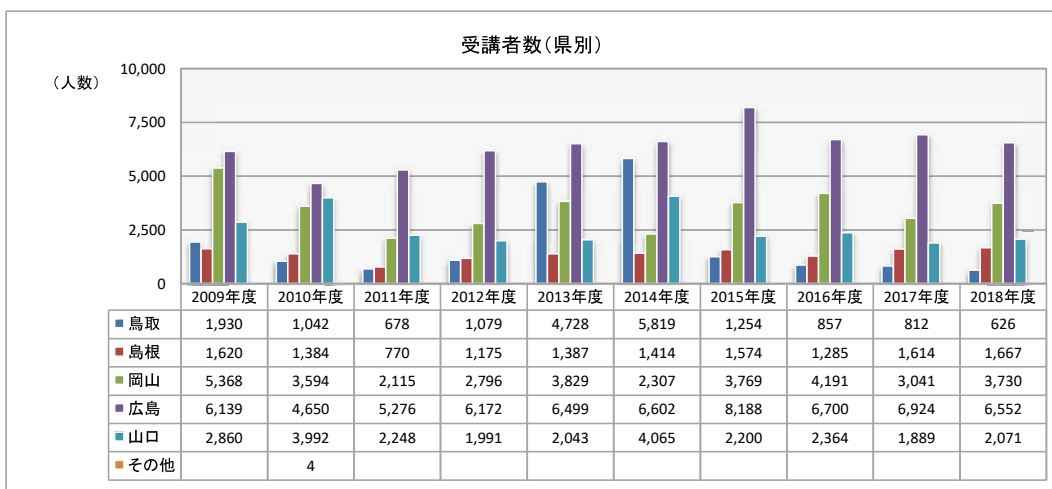
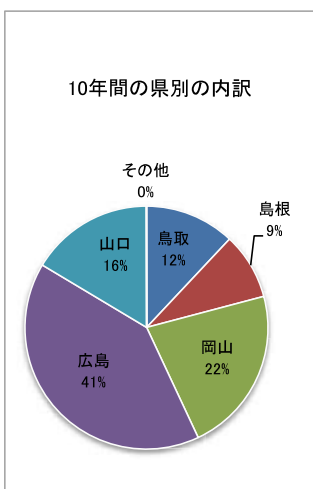
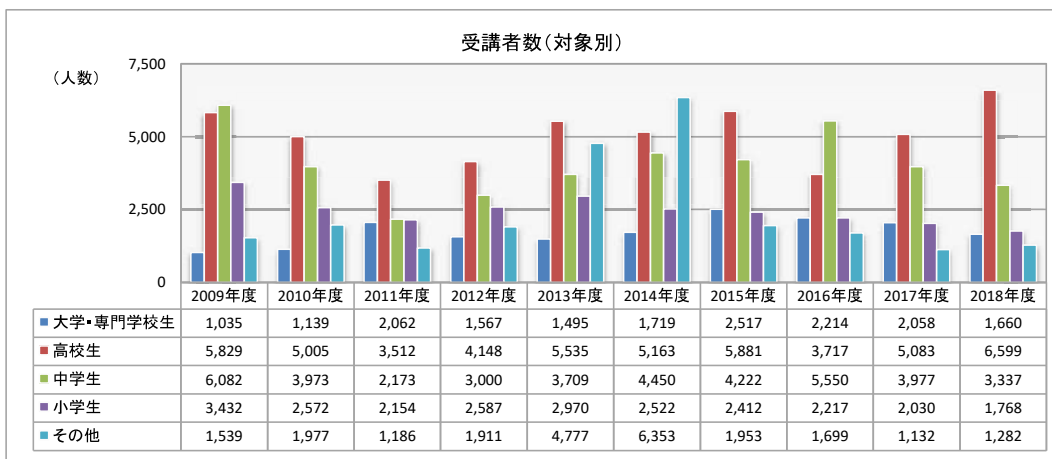
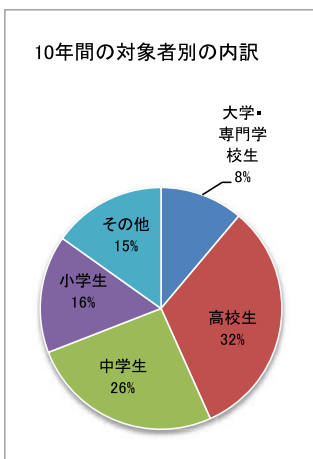
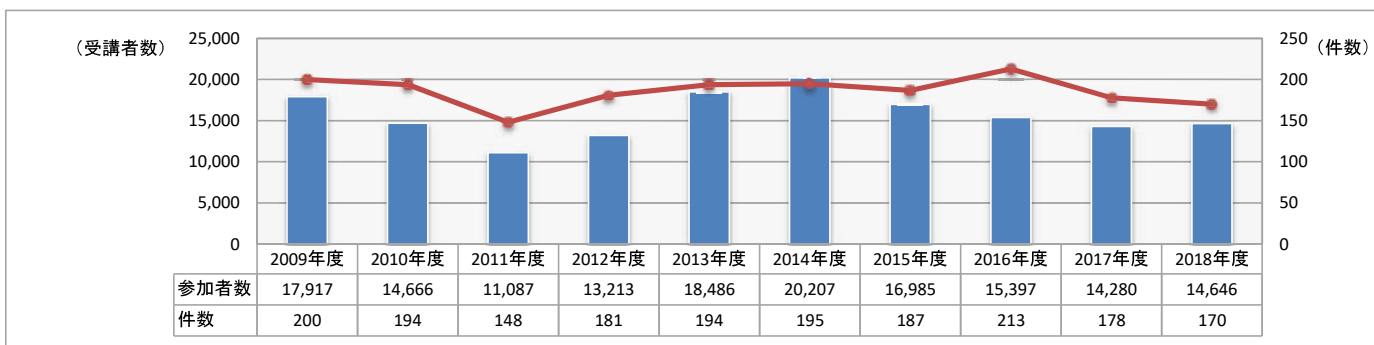
5. 開発教育支援・市民参加協力推進事業実績

開発教育支援事業では、「世界をもっと知りたい!」「私にも出来る国際協力って?」「途上国ってどんなところ?」など、児童・生徒や教育現場で働く人に世界の問題や国際協力について知り、考えるためのプログラムを多数用意。まずは自分の身の回りから、世界とのつながりを感じてみましょう。

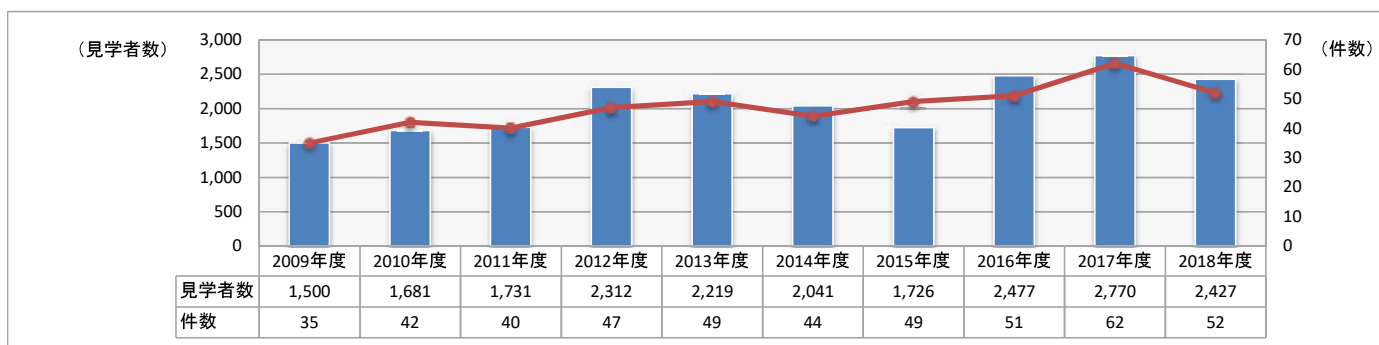
- 国際協力出前講座
- JICA中国施設訪問「国際理解教室」
- 研修員の学校訪問
- 高校生国際協力体験プログラム
- 教師海外研修
- 国際教育研修会
- 中学生・高校生国際協力エッセイコンテスト



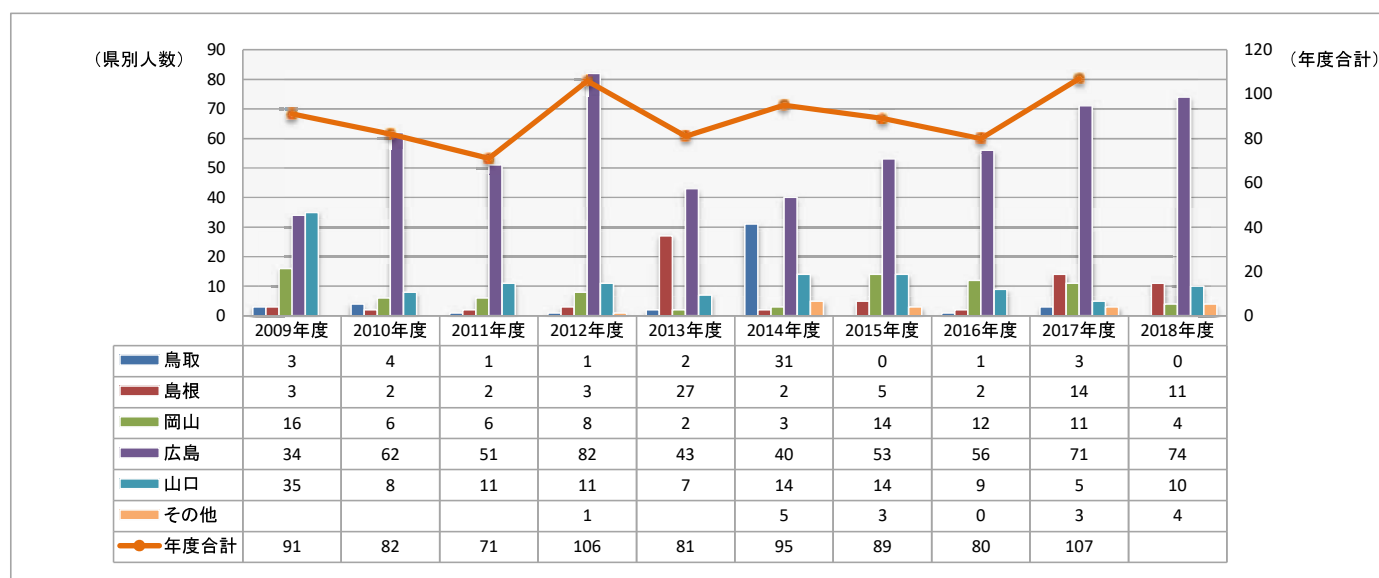
(1) 国際協力出前講座



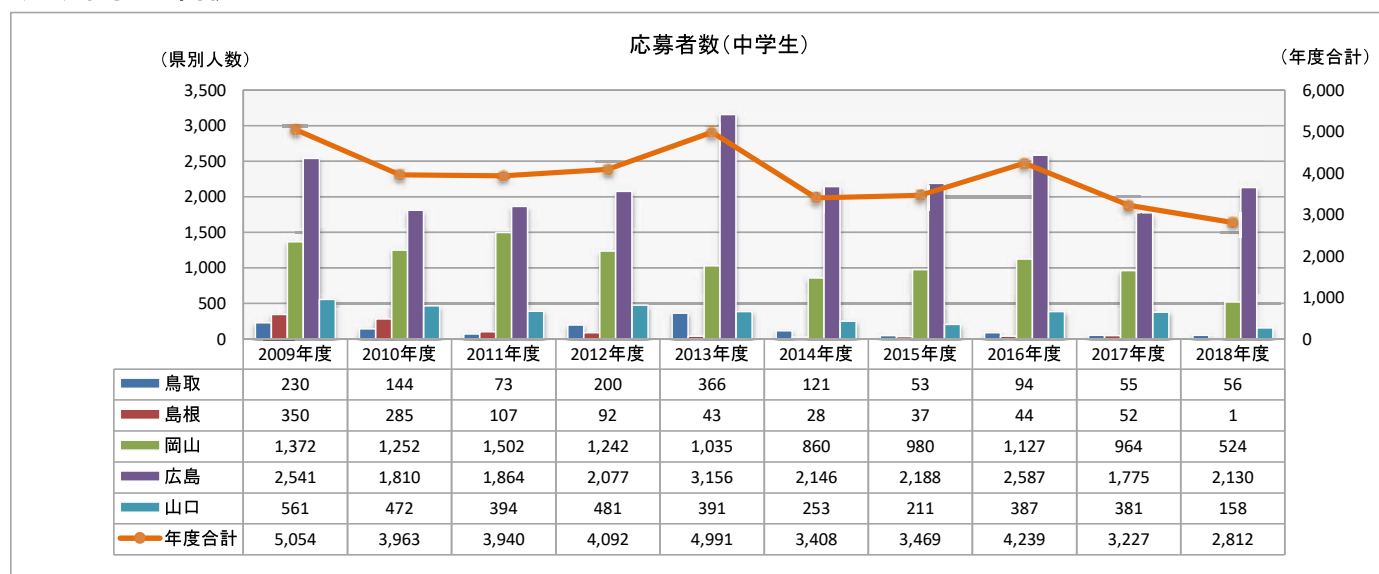
(2) JICA中国施設訪問



(3) 国際教育研修会



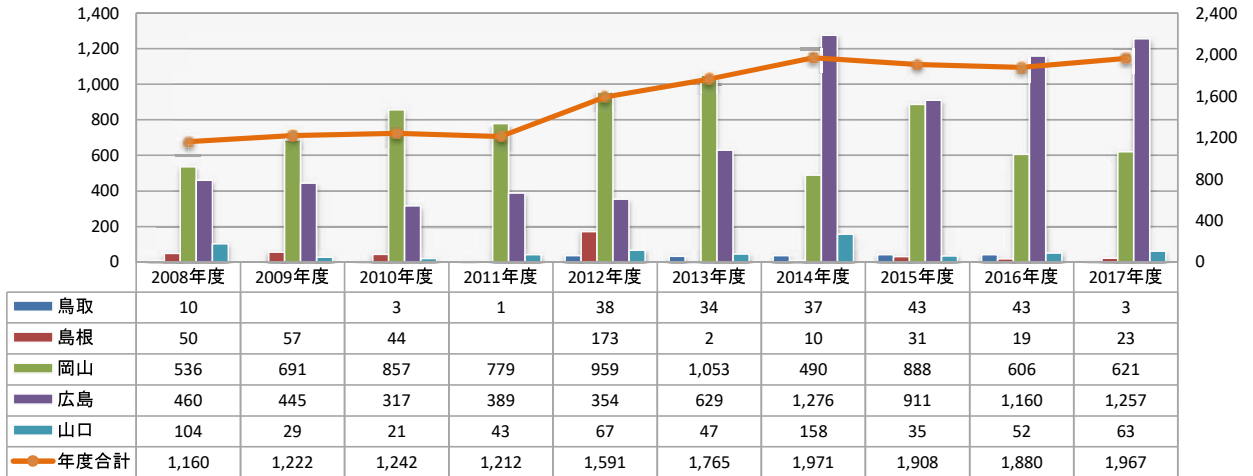
(4) 中学生・高校生エッセイコンテスト



(県別人数)

応募者数(高校生)

(年度合計)



2018年度 研修員受入実績

合計 455名

課題別研修

件数	コース名	タイプ	人数	受入国名	受入期間	実施機関	研修委託先
1	2017年度案件 地域水産業の持続的発展に寄与する行政官の実践的能力開発	課題別	11	インドネシア、カンボジア、ベトナム、ミャンマー、トンガ、モロッコ、チュニジア、ナミビア、南アフリカ共和国、カーボヴェルデ、ガボン	2018年3月30日～ 2018年5月22日	広島県他	(公財)ひろしま国際センター
2	ガスタービン・石炭火力発電のメンテナンス技術向上(A)	課題別	5	タンザニア、ミャンマー、モザンビーク(2)、バングラデシュ	2018年5月28日～ 2018年7月18日	(一社)海外電力調査会 (株)パワー・エンジニアリング・アンド・トレーニングサービス	(一社)海外電力調査会
3	都市上水道維持管理(給・配水)(B)	課題別	10	アフガニスタン、インドネシア、エリトリア、ギニア、コートジボワール、スリランカ、ボスニア・ヘルツェゴビナ、マラウイ、モザンビーク、リベリア	2018年6月27日～ 2018年8月7日	広島市水道局他	広島市水道局
4	紛争影響国における地域社会再建にかかる地方行政能力強化	課題別	7	アフガニスタン(2)、スーダン、ソマリア(2)、南スーダン、パレスチナ	2018年7月1日～ 2018年7月19日	(公財)ひろしま国際センター	(公財)ひろしま国際センター
5	エネルギーの高効率利用と省エネの推進(D)	課題別	12	アルゼンチン、エクアドル、エルサルバドル、キューバ、グアテマラ、コロンビア、ドミニカ共和国、パナマ、ペルー、ボリビア、ホンジュラス、メキシコ	2018年7月11日～ 2018年8月25日	(公財)ひろしま国際センター	(公財)ひろしま国際センター
6	紛争影響国における国家建設	課題別	5	コートジボワール(2)、コンゴ民主共和国(2)、南スーダン	2018年7月22日～ 2018年8月4日	(公財)ひろしま国際センター	(公財)ひろしま国際センター
7	乾燥地における持続的農業のための土地・水資源の適正管理(A)	課題別	7	アフガニスタン、イラク(2)、ケニア、スーダン、パレスチナ、ヨルダン	2018年7月23日～ 2018年11月7日	鳥取大学	鳥取大学
8	排水処理技術	課題別	8	アルゼンチン、ボリビア、コロンビア、コスタリカ、グアテマラ、メキシコ、ニカラグア、ペルー	2018年8月27日～ 2018年10月25日	(公財)ひろしま国際センター	(公財)ひろしま国際センター
9	サブサハラ・アフリカ初等数科教授法と評価手法	課題別	11	エチオピア(2)、ガーナ、ザンビア(4)、ナミビア、ハイチ、マラウイ、南スーダン	2018年8月28日～ 2018年10月27日	岡山大学教育学研究科	岡山大学教育学研究科
10	授業研究による教育の質的向上(A)	課題別	9	カンボジア(2)、ネパール、バングラデシュ、ミャンマー(2)、モンゴル、ラオス(2)	2018年9月5日～ 2018年9月29日	広島大学	広島大学
11	海上保安政策プログラム	課題別	7	マレーシア(2)、フィリピン、ベトナム、インド、スリランカ(2)	2018年9月26日～ 2019年9月13日	海上保安庁 政策研究大学院大学	直営
12	学びの改善のための教育政策策定及び分析能力開発	課題別	13	アフガニスタン、エジプト、カンボジア、ケニア、ザンビア、セネガル(2)、ネパール(2)、パレスチナ、バングラデシュ、マラウイ、ラオス	2018年10月24日～ 2018年11月27日	広島大学教育開発国際協力研究センター	広島大学
13	道路維持管理(D)	課題別	10	エチオピア、カメルーン、コートジボワール、コンゴ民主共和国、ザンビア(2)、ジンバブエ(2)、タンザニア、ナイジェリア	2018年10月26日～ 2018年12月6日	国土交通省、広島大学他	(公財)ひろしま国際センター
14	中等教育課程における数学教育の質の向上	課題別	13	コスタリカ(2)、ドミニカ共和国、エルサルバドル(2)、グアテマラ(2)、ホンジュラス(2)、ニカラグア(2)、パラグアイ、ペルー	2018年10月29日～ 2018年11月21日	岡山大学	岡山大学
15	学校ベースの学習の質改善と教育行政の支援	課題別	11	エチオピア、ガーナ(2)、マラウイ、ルワンダ(2)、南アフリカ、ウガンダ(2)、ザンビア(2)	2018年11月15日～ 2018年12月8日	広島大学大学院国際協力研究科他	広島大学
16	乾燥地における持続的農業のための土地・水資源の適正管理(B)	課題別	7	アルメニア、アゼルバイジャン、キルギス(2)、タジキスタン、トルクメニスタン、ウズベキスタン	2018年11月20日～ 2018年12月8日	鳥取大学	鳥取大学
17	質の高い、持続可能な交通システムの推進	課題別	8	カンボジア、ラオス、マレーシア、ミャンマー(2)、フィリピン、タイ(2)	2018年11月25日～ 2018年12月15日	国土交通省 広島大学	(公財)ひろしま国際センター
18	バイオマス利用技術	課題別	6	インド、エジプト、キューバ、メキシコ、モーリシャス、ネパール	2019年1月6日～ 2019年2月16日	広島大学	広島大学
19	中米統合機構加盟国向け ビジネスを通じた女性のエンパワメント	課題別	12	コスタリカ(3)、ドミニカ共和国(2)、エルサルバドル(2)、グアテマラ、ホンジュラス、ニカラグア(2)、パナマ	2019年1月9日～ 2019年2月16日	(公財)ひろしま国際センター	(公財)ひろしま国際センター
20	乳幼児ケアと就学前教育(アジア)	課題別	7	バングラディッシュ、マレーシア、モルディブ(2)、モンゴル(2)、スリランカ	2019年1月10日～ 2019年2月2日	広島大学	広島大学
21	アフリカ地域 教師教育(基礎教育分野)	課題別	12	ベナン、ブルキナファソ、チャド、コートジボワール(2)、ジブチ、ガボン、ギニア、マダガスカル(2)、ニジェール、セネガル	2019年1月17日～ 2019年2月21日	(公財)ひろしま国際センター	(公財)ひろしま国際センター

件数	コース名	タイプ	人数	受入国名	受入期間	実施機関	研修委託先
22	地域水産業の持続的発展に寄与する行政官の実践的能力開発	課題別	4	ベナン、フィジー、ナミビア、タンザニア	2019年3月3日～ 2019年4月16日	広島県他	(公財)ひろしま国際センター
	課題別研修 小計	20件	195名				

国別研修

件数	コース名	タイプ	人数	受入国名	受入期間	実施機関	研修委託先
1	2018年度アクアポニックスの開発 SATREPS短期研修	国別	4	メキシコ	2018年7月8日～ 2018年8月25日	鳥取大学	鳥取大学
2	コミュニティ開発を通じた生計向上と信頼醸成	国別	10	コンボ	2018年7月22日～ 2018年8月7日	(公財)ひろしま国際センター	(公財)ひろしま国際センター
3	狂犬病ウイルスの診断法ならびに検査法に関する実地研修	国別	4	インドネシア	2018年8月13日～ 2018年8月24日	山口大学	山口大学
4	自動車製造	国別	3	メキシコ	2018年9月5日～ 2018年10月19日	マツダ(株)	マツダ(株)
5	岡山大学救命救急科研修	国別	2	ミャンマー	2018年9月17日～ 2018年12月1日	岡山大学	岡山大学
6	PCKを踏まえた理数科授業実践技能の向上	国別	12	ザンビア	2018年10月4日～ 2018年11月3日	広島大学	広島大学
7	救助潜水システム及び潜水士育成に係る研修	国別	3	マレーシア	2018年10月8日～ 2018年10月15日	海上保安大学校 海上保安庁第三管区海上保安本部	海上保安大学校 海上保安庁第三管区海上保安本部
8	土木工学	国別	1	東ティモール	2018年11月4日～ 2018年12月21日	山口大学	山口大学
9	電力セクター人材育成	国別	9	イラク	2018年11月18日～ 2018年12月18日	JEPIC、PET	JEPIC
10	土木工学	国別	1	東ティモール	2019年1月13日～ 2019年2月15日	山口大学	山口大学
11	2018年度短期研究者招へいプログラム (PhD向け)	国別	3	エチオピア	2019年2月25日～ 2019年4月27日	鳥取大学	鳥取大学
12	2018年度短期研究者招へいプログラム (研究者向け)	国別	4	エチオピア	2019年2月28日～ 2019年3月10日	鳥取大学	鳥取大学
	国別研修 小計	12件	56名				

青年研修

件数	コース名	タイプ	人数	受入国名	受入期間	実施機関	研修委託先
1	地方行政コース	青年	6	ヨルダン	2018年9月2日～ 2018年9月15日	山口大学、山口県他	山口大学
2	地域における中小企業振興コース	青年	14	東ティモール	2018年9月18日～ 2018年10月3日	廿日市市他	(特非)ひろしまNPOセンター
3	アフリカ(英語)混成/初中等理数科教育コース	青年	16	エチオピア(2)、エスワティニ、ケニア(2)、モザンビーク(2)、ナミビア、ナイジェリア、南アフリカ、タンザニア(2)、ウガンダ、ザンビア(2)、ジンバブエ	2018年10月9日～ 2018年10月23日	島根県地域国際交流会連合会	島根県地域国際交流会連合会
4	地方行政コース	青年	9	ブータン	2018年11月9日～ 2018年11月23日	海士町	海士町
5	都市環境管理コース	青年	14	インドネシア	2018年12月2日～ 2018年12月15日	宇部環境国際協力協会	宇部環境国際協力協会
6	防災コース	青年	13	ミャンマー	2018年12月4日～ 2018年12月19日	(特非)ひろしまNPOセンター	(特非)ひろしまNPOセンター
7	地域における中小企業振興コース	青年	15	フィリピン	2019年1月27日～ 2019年2月9日	経済産業省、JETRO他	公益財団法人ひろしま国際センター
	青年研修 小計	7件	87名				

長期研修

件数	コース名	タイプ	人数	受入国名	受入期間	実施機関	研修委託先
1	岡山大学大学院自然科学研究科・博士課程(ミャンマー)	国別(長期)	2	ミャンマー	2015年3月23日～ 2018年9月30日	岡山大学	
2	「医科大学教員」岡山大学医歯学総合研究科(細胞生理学)	国別(長期)	1	ミャンマー	2015年4月6日～ 2019年3月28日	岡山大学	
3	「医科大学教員」岡山大学医歯学総合研究科(薬理学)	国別(長期)	1	ミャンマー	2015年4月6日～ 2019年3月28日	岡山大学	

件数	コース名	タイプ	人数	受入国名	受入期間	実施機関	研修委託先
4	ABE2015・第2/バッチ・島根大学	国別 (長期)	1	ナイジェリア	2015年9月6日～ 2018年8月1日	島根大学	
5	ABE2015・第2/バッチ・広島大学	国別 (長期)	2	コートジボワール、マラウイ	2015年9月6日～ 2018年9月5日	広島大学	
6	PEACE-2015-社会科学・山口大学 経済学研究科	国別 (長期)	2	アフガニスタン	2015年9月23日～ 2018年9月29日	山口大学	
7	PEACE-2015-農工社 広島大学国際協力研究科 (第5/バッチ修士課程)	国別 (長期)	2	アフガニスタン	2015年9月23日～ 2018年9月24日	広島大学	
8	JKUAT/PAU・植物病理学/動物栄養学・岡山大学(博士課程)	国別 (長期)	2	ケニア	2016年3月27日～ 2019年3月28日	岡山大学	
9	ABE2016・第3/バッチ・岡山大学	国別 (長期)	1	ウガンダ	2016年9月3日～ 2019年3月28日	岡山大学	
10	ABE2016・第3/バッチ・島根大学	国別 (長期)	3	ナイジェリア、南アフリカ(2)	2016年9月3日～ 2019年9月30日	島根大学	
11	ABE2016・第3/バッチ・山口大学	国別 (長期)	2	コンゴ、南アフリカ	2016年9月3日～ 2019年3月22日	山口大学	
12	ABE2016・第3/バッチ・鳥取大学	国別 (長期)	2	モザンビーク、ジンバブエ	2016年9月3日～ 2018年10月1日	鳥取大学	
13	ABE2016・第3/バッチ・広島大学	国別 (長期)	3	ブルキナファソ、セネガル、南アフリカ	2016年9月3日～ 2019年9月30日	広島大学	
14	2016・農・島根大学生物資源科学研究科	国別 (長期)	4	アフガニスタン	2016年9月19日～ 2019年3月25日	島根大学	
15	2016・社・山口大学経済学研究科	国別 (長期)	2	アフガニスタン	2016年9月19日～ 2019年3月24日	山口大学	
16	2016・農工社・広島大学国際協力研究科	国別 (長期)	4	アフガニスタン	2016年9月19日～ 2019年9月30日	広島大学	
17	露地栽培結合型アクアポニックスの 開発SATREPS長期研修	国別 (長期)	1	メキシコ	2016年9月28日～ 2019年9月30日	鳥取大学	
18	植物科学/作物開花制御学	国別 (長期)	1	ケニア	2016年10月2日～ 2019年9月30日	岡山大学	
19	機械工学における熱流体研究	国別 (長期)	1	ケニア	2016年10月2日～ 2019年9月30日	鳥取大学	
20	山口大学博士課程(土木工学)	国別 (長期)	1	東ティモール	2017年3月22日～ 2020年9月30日	山口大学	
21	山口大学修士課程(土木工学)	国別 (長期)	1	東ティモール	2017年3月22日～ 2019年9月30日	山口大学	
22	教育行政	国別 (長期)	4	ルワンダ	2017年3月26日～ 2019年3月31日	広島大学	
23	C-BEST「産業人材育成事業」	国別 (長期)	1	インドネシア	2017年3月26日～ 2019年9月30日	広島大学	
24	次世代型「持続可能な土地管理 (SLM)」フレームワーク開発プロジェクト	国別 (長期)	1	エチオピア	2017年4月2日～ 2020年3月31日	鳥取大学	
25	PEACE・農・広島大学生物圏科学研究科(6/バッチ博士)	国別 (長期)	1	アフガニスタン	2017年4月7日～ 2020年3月31日	広島大学	
26	P-LEADS2017・第2/バッチ・岡山大学 環境生命科学研究科	国別 (長期)	5	フィジー(2)、ソロモン諸島、トンガ、バヌアツ	2017年8月16日～ 2020年3月31日	岡山大学	
27	P-LEADS2017・第2/バッチ・山口大学 経済学研究科	国別 (長期)	1	ババニューギニア	2017年8月16日～ 2020年3月31日	山口大学	
28	JISR・第1/バッチ・広大国際協力研究科(工学)	国別 (長期)	1	シリア	2017年8月19日～ 2020年9月30日	広島大学	
29	ABE2017・第4/バッチ・広島大学	国別 (長期)	7	赤道ギニア、レソト、マラウイ、モザンビーク、セネガル(2)、南アフリカ	2017年9月2日～ 2020年10月31日	広島大学	
30	ABE2017・第4/バッチ・鳥取大学	国別 (長期)	2	ケニア、南アフリカ	2017年9月2日～ 2020年10月31日	鳥取大学	
31	ABE2017・第4/バッチ・島根大学	国別 (長期)	3	カメルーン、エリトリア、南アフリカ	2017年9月2日～ 2020年10月31日	島根大学	
32	ABE2017・第4/バッチ・山口大学	国別 (長期)	1	マラウイ	2017年9月2日～ 2020年10月31日	山口大学	
33	PEACE・2017・農工・島根大学生物資源科学研究科(第7/バッチ)	国別 (長期)	2	アフガニスタン	2017年9月19日～ 2020年10月31日	島根大学	
34	PEACE・2017・農・岡山大学環境生命科学研究科(第7/バッチ)	国別 (長期)	2	アフガニスタン	2017年9月19日～ 2020年3月31日	岡山大学	

件数	コース名	タイプ	人数	受入国名	受入期間	実施機関	研修委託先
35	2017・農社・広島大学国際協力研究科(第7バッチ)	国別(長期)	2	アフガニスタン	2017年9月19日～2020年3月31日	広島大学	
36	基礎教育の質改善(第1バッチ2017年入学)	国別(長期)	5	カンボジア	2017年9月25日～2019年9月30日	広島大学	
37	イノベティブ・アジア	国別(長期)	4	インドネシア	2017年9月25日～2021年9月30日	広島大学	
38	次世代型「持続可能な土地管理(SLM)」フレームワーク開発プロジェクト	国別(長期)	3	エチオピア	2017年10月1日～2020年9月30日	鳥取大学	
39	教育行政	国別(長期)	2	ルワンダ	2018年3月25日～2020年3月31日	広島大学	
40	理数科教師教育強化	国別(長期)	2	ルワンダ	2018年3月25日～2020年3月31日	広島大学	
41	PEACE・第7バッチ・広大国際協力研究科・農(博士)	国別(長期)	2	アフガニスタン	2018年4月1日～2021年3月31日	広島大学	
42	PEACE・第7バッチ・岡大環境生命科学研究所・農(博士)	国別(長期)	1	アフガニスタン	2018年4月1日～2021年3月31日	岡山大学	
43	次世代型「持続可能な土地管理(SLM)」フレームワーク開発プロジェクト	国別(長期)	1	エチオピア	2018年4月10日～2021年3月31日	鳥取大学	
44	JISR2018 第2バッチ・広島大学国際協力研究科	国別(長期)	2	シリア	2018年8月7日～2021年9月30日	広島大学	
45	ABE2018・第5バッチ・広島大学国際協力研究科	国別(長期)	2	ガーナ、南アフリカ	2018年9月1日～2021年9月30日	広島大学	
46	ABE2018・第5バッチ・島根大学総合理工学研究所	国別(長期)	1	エリトリア	2018年9月1日～2021年3月31日	島根大学	
47	PEACE・第8バッチ・島根大学	国別(長期)	1	アフガニスタン	2018年9月23日～2021年3月31日	島根大学	
48	PEACE2018・工・広島大学国際協力研究科	国別(長期)	1	アフガニスタン	2018年9月26日～2021年3月31日	広島大学	
49	PEACE2018・農・岡山大学環境生命科学研究所	国別(長期)	1	アフガニスタン	2018年9月26日～2021年3月31日	岡山大学	
50	Innovative Asia 2018・第2バッチ・山口大学	国別(長期)	4	インドネシア、マレーシア、フィリピン、タイ	2018年9月28日～2021年9月30日	山口大学	
51	子どもの学びの改善(2018年度受入開始分)	国別(長期)	3	カンボジア	2018年9月30日～2020年9月30日	広島大学	
52	子どもの学びの改善(2018年度派遣開始バッチ)	国別(長期)	2	モンゴル	2018年9月30日～2021年9月30日	広島大学	
53	Innovative Asia 2018・第2バッチ・広島大学	国別(長期)	4	カンボジア、インドネシア、マレーシア、パキスタン	2018年9月30日～2021年9月30日	広島大学	
	長期研修 小計	53件	113 名				

日系研修

件数	コース名	タイプ	人数	受入国名	受入期間	実施機関	研修委託先
1	日本社会におけるビジネススキルの習得(経営方法・マーケティング・営業)	日系	1	ブラジル	2018年5月13日～2018年12月1日	島根県	島根県
2	和牛等の高品質家畜生産のための効率的・効果的な生産、繁殖、健康管理	日系	1	ポリビア	2018年5月13日～2019年2月26日	山口大学	山口大学
3	観光果樹園経営及び果樹栽培収穫技術に係る長期研修	日系	1	ポリビア	2018年5月13日～2018年11月17日	(公財)ひろしま国際センター	(公財)ひろしま国際センター
4	理学療法(作業療法)による機能回復訓練	日系	1	パラグアイ	2018年9月30日～2018年11月30日	広島県立障害者リハビリテーション	(公財)ひろしま国際センター
	日系研修 小計	4件	4 名				

2018年度 JICA海外協力隊新規派遣実績

(1) 長期案件新規派遣実績(※1)

青年海外協力隊

合計 38名

県名	派遣国	職種
鳥取 3名	エジプト	PCインストラクター
	ケニア	コミュニティ開発
	ジャマイカ	行政サービス
島根 4名	ガーナ	青少年活動
	ザンビア	理科教育
	ベナン	障害児・者支援
	コスタリカ	コミュニティ開発
広島 11名	ラオス	コミュニティ開発
	ベトナム	障害児・者支援
	ベトナム	理学療法士
	モンゴル	小学校教育
	インド	コミュニティ開発
	ネパール	看護師
	ガーナ	障害児・者支援
	ナミビア	小学校教育
	ベナン	コミュニティ開発
	ルワンダ	コミュニティ開発
	ソロモン	水泳

県名	派遣国	職種
岡山 9名	マレーシア	野球
	タイ	環境教育
	東ティモール	学芸員
	モロッコ	小学校教育
	モロッコ	PCインストラクター
	スーダン	レスリング
	タンザニア	数学教育
	グアテマラ	コミュニティ開発
	キリバス	日本語教育
山口 11名	フィリピン	公衆衛生
	モンゴル	看護師
	ボツワナ	木工
	コスタリカ	野球
	コロンビア	皮革工芸
	エクアドル	理学療法士
	エクアドル	理学療法士
	ペルー	コミュニティ開発
	キリバス	公衆衛生
	バヌアツ	環境教育
	バヌアツ	小学校教育

シニア海外ボランティア

合計 5名

県名	派遣国	職種
岡山	ブータン	観光
	コスタリカ	放送技術・設備
広島	インドネシア	金属加工
	ベトナム	番組制作
	コロンビア	小学校教育

日系社会青年ボランティア

合計 2名

県名	派遣国	職種
鳥取	ブラジル	野球
広島	ブラジル	日本語教育

(2) 短期案件新規派遣実績(※2)

青年海外協力隊

合計 6名

県名	派遣国	職種
岡山	セントルシア	水産開発
	バヌアツ	手工芸
広島	ザンビア	食用作物・稲作栽培
	ボリビア	野球
	パラグアイ	家畜飼育
山口	ボリビア	サッカー

シニア海外ボランティア

合計 2名

県名	派遣国	職種
広島	パラオ	手工芸
山口	タジキスタン	日本語教育

(3) 連携案件新規派遣実績

自治体連携(鳥取県)

合計 1名

自治体	派遣国	職種
鳥取	ジャマイカ	行政サービス

大学連携

合計 3名

① 広島大学「ザンビア特別教育プログラム」

大学	派遣国	職種
広島大学	ザンビア	理科教育
広島大学	ザンビア	理科教育

② 広島大学・ザンビア共和国 柔道連携プログラム

大学	派遣国	職種
広島大学	ザンビア	柔道

※1: 出発前表敬訪問者数

※2: データベースの出身県に基づき算出

2018年度 市民向け事業実績

実施回数： 10 件

県名	市町村	事業名	実施日	会場	共催	後援
岡山県	岡山市	おかやまフェアトレードデー！	5月26日	岡山国際交流センター	(一財)岡山県国際交流協会	岡山県教育委員会、岡山発国際貢献推進協議会
広島県	東広島市	世界まるごと体験デー	11月3日	ひろしま国際プラザ		東広島市、東広島市教育委員会
		東広島市生涯学習フェスティバル	11月17日・18日	東広島芸術文化ホールくらら	公益財団法人ひろしま国際センターと共同で参加	
		とんど祭り	1月19日	東広島市御菌宇小学校		
		クッキング交流会	2月2日	ひろしま国際プラザ		
	広島市	国際フェスタ2018	11月18日	広島国際会議場、平和大通り緑地帯(国際会議場南側)、平和記念公園	JICA中国、公益財団法人ひろしま国際センター、広島市	広島県、広島県教育委員会、広島市教育委員会、中国新聞社、中国放送、広島テレビ、広島ホームテレビ、テレビ新広島、広島エフエム放送
		JICA研修員と話すHIROSHIMAピーストーク	12月1日	広島市竹屋公民館		
		アフリカ系漫画家とお笑い芸人が広島でトークをした結果	3月17日	エディオン蔦屋家電		
竹原市	ねえ聞いて！わたしのお国自慢	2月9日	竹原市東野公民館			
島根県	松江市	SDGsってなに？～2030年の山陰を語ろう～	2月9日	松江テルサ		島根県、鳥取県、松江市、公益財団法人しまね国際センター、公益財団法人鳥取県国際交流財団、島根県教育委員会、鳥取県教育委員会、雲南市教育委員会

2018年度 JICA中国施設訪問受入実績

訪問者総数: 2,427名

訪問件数: 52件

県名	No	実施日	訪問団体	訪問者	訪問者数
岡山県	1	4月25日	山陽女子中学校	中学2年生(女子生徒)	67
	2	7月23日	岡山県立勝山高等学校	第1学年生徒	23
	3	9月2日	倉敷市国際交流協会	小学生(1~6年生)とその保護者	42
	4	11月17日	倉敷市郷内中学校校区人権学習推進委員会	推進委員	40
	5	12月15日	岡山県立一宮高校	高校1、2年生、国際貢献活動に興味と関心の強い生徒	42
	6	2月13日	倉敷天城中学校	中学2年生	44
岡山県 小計					258
広島県	1	4月13日	福山市立福山中学校	中学校3年生	118
	2	4月16日	広島大学 国際協力研究科	大学1年生(総合科学部国際共創学科)	74
	3	4月20日	広島県立御調高等学校	高校2年生	70
	4	4月27日	広島工業大学高等学校	高校2年生	43
	5	5月16日	広島大学 生物生産学部	生物生産学部1年	11
	6	5月24日	西条特別支援学校 中学部	中学部2年生	8
	7	5月30日	広島大学 生物生産学部 教養ゼミ	生物生産学部1年生	33
	8	6月18日	三原市立第一中学校	中学3年生	40
	9	6月21日	世羅町立世羅西中学校	中学3年生	14
	10	6月22日	広島国際大学 看護学部	看護学部看護学科4年生	9
	11	6月28日	呉特別支援学校(高等部)	高等部	25
	12	6月29日	広島県立三原特別支援学校	高等部2年	29
	13	7月2日	東広島市立板城西小学校	小学校6年生	13
	14	7月4日	三次市立甲奴中学校	中学3年生	20
	15	7月6日	呉港高等学校	高校1年生 特進クラス (1クラス)	28
	16	7月31日	東広島市立西条中学校	中学1年生~3年生	26
	17	8月3日	広島国際大学 医療福祉学部	福祉系職員(男女)	23
	18	8月7日	安芸府中町環境課環境政策係	府中町立小学校4~6年生児童	27
	19	8月22日	福山市立伊勢丘小学校	小学5年生	107
	20	9月6日	安芸太田町立加計中学校	中学校3学年生徒	25
	21	9月11日	尾道市立向島中学校	中学校1年生	100
	22	9月12日	北広島町立大朝中学校	中学3年生	28
	23	9月13日	広島北特別支援学校	高等部第1学年	71
	24	9月18日	東広島市立原小学校	小学校2年生	32
	25	9月19日	三原市立本郷中学校	中学3年生	82

県名	No	実施日	訪問団体	訪問者	訪問者数
広島県	26	9月20日	竹原市立賀茂川中学校	中学3年生	36
	27	9月25日	三原市立鷺浦小学校	小学校1～5年生(全校)	16
	28	9月26日	呉市立昭和中学校	中学校3年生	135
	29	9月28日	呉市立倉橋中学校	中学3年生	15
	30	10月3日	三次市立十日市中学校	1年生	128
	31	10月15日	三次市立吉舎中学校	中学3年生	31
	32	10月16日	黒瀬特別支援学校 高等部	高等部1年生	21
	33	10月17日	三原市立第五中学校	第2学年	134
	34	10月26日	伴地区民生委員・児童委員協議会	社会人(シニア)	15
	35	10月27日	東広島市生涯学習課	近畿大学工学部学生、一般市民	70
	36	11月1日	広島大学付属中学校	2年	10
	37	11月2日	安芸高田市立吉田中学校	中学校1年生	102
	38	11月19日	東広島市御園宇小学校	小学校2年生	26
	39	12月4日	加茂歩こう会	社会人(シニア)	46
	40	1月25日	熊野第一小学校	第6学年	91
	41	2月18日	安芸高田市立八千代中学校	1年生	21
	42	3月1日	江田島私立中町小学校	6年生	29
	43	3月22日	大塚・伴南民生委員・児童委員協議会	社会人(シニア)	10
広島県 小計					1,992
鳥取県	1	8月31日	社会福祉法人 愛香園	生活支援課・就労支援課職員	9
鳥取県 小計					9
山口県	1	5月29日	山口県下松中学校(くだまつ)	中学2年生	143
山口県 小計					143
愛媛県	1	6月19日	立花カルチャーセンター婦人スクール	社会人(シニア)	25
愛媛県 小計					25

2018年度 国際教育研修会

国際教育研修会(第1回)

テーマ: 「12年後の地球を考える ～ワークショップで知ろう! 私たちの生活とSDGs～」

実施日: 2018年6月24日(日) 10:00～16:10

会場: JICA中国(東広島市・ひろしま国際プラザ内)

参加者: 66名

島根	岡山	広島	山口	その他	合計
10	8	39	6	3	66

国際教育研修会(第2回)

テーマ: 「ティーチャーからファシリテーターへ ～JICA教師海外研修から考える参加型学習～」

実施日: 2019年1月26日(土) 10:00～16:40

会場: ひろしま国際センター 交流ホール(広島市)

参加者: 45名

島根	岡山	広島	山口	その他	合計
1	4	35	4	1	45

2018年度 教師海外研修実績

派遣教師：8名

国内事前研修	海外研修期間	国内事後研修	派遣国	県名	学校名
6月23日(土)～ 6月24日(日) ※2日目は第1回 国際教育研修会 と併催	8月8日(水)～ 8月18日(土)	【第1回】9月1日(土)～ 9月2日(日) 【第2回】2019年1月26日(土) (第2回国際教育研修会 と併催)	スリランカ(8名)	広島県	広島市立落合小学校
				広島県	尾道市立日比崎中学校
				広島県	広島県立瀬戸田高等学校
				岡山県	新見市立新見第一中学校
				山口県	山口市立良城小学校
				山口県	周南市立富田東小学校
				山口県	下関市立江浦小学校
				島根県	海士町立福井小学校

2018年度 教育行政及び教員組織との連携実績

県名	連携先	実施時期	主な連携内容
鳥取県	鳥取県教育委員会	/	JICA中国開発教育支援事業にかかる後援
	鳥取県教育委員会高校教育課		SGH校(鳥取西高校)運営委員へのJICA職員の就任
	鳥取県海外子女教育・国際理解教育研究協議会	8月17日	「平成30年度全国海外子女教育・国際理解教委億研究協議会第11回中国ブロック大会(鳥取大会)」の共催(講師派遣)
島根県	島根県教育委員会	/	JICA中国開発教育支援事業にかかる後援
	島根県教育委員会高校教育課		SGH校(出雲高校)関連講座への講師派遣
	島根県高等学校国際教育研究協議会	6月19日	「第38回島根県高等学校国際教育英語弁論大会 兼 第13回中国ブロック国際教育英語弁論大会」への後援
		9月7日	「第54回島根県高等学校国際教育日本語弁論大会 兼 第65回国際理解・国際協力のための高校生の主張コンクール島根県予選」への後援(JICA中国所長賞授与)
	島根県国際理解教育研究会	8月10日	島根県国際理解教育研究会夏季研修会「海外の教育事情研修会」への後援(講師派遣)
雲南市教育委員会	通年	「中高生の！幸雲南塾 グローバル部」への講師派遣	
岡山県	岡山県教育委員会	/	JICA中国開発教育支援事業にかかる後援
	岡山県総合教育センター		10月25日
	岡山県総合教育センター	11月1日	初任者研修課題別研修「国際教育(高等学校)」への講師派遣
	倉敷教育センター	7月20日	初任者研修(全初年度教員対象)への講師派遣
広島県	広島県教育委員会	/	JICA中国開発教育支援事業にかかる後援・協賛
	広島県教育委員会		/
	広島市教育委員会	/	
	広島県立教育センター		8月1日～2日
	広島県国際理解教育研究協議会	8月22日	第23回広島県国際理解教育研究大会への後援(講師派遣及び会場提供)
	広島県教育委員会(義務教育指導課)	2月18日	「平成30年度教科等別指導主事会議(ESD部会)」への講師派遣
山口県	山口県教育委員会	/	JICA中国開発教育支援事業にかかる後援
	山口県国際理解教育研究会		8月20日

2018年度 高校生国際協力体験プログラム

実施日：2018年7月28日(土)～7月29日(日)
会 場：ひろしま国際プラザ (JICA中国)

参加グループ：21グループ
学校数：21校
参加生徒数：31名

県名	学校名	参加生徒	
		学年	人数
岡山県	金光学園高校	2年	2
	岡山県立玉野光南高等学校	3年	2
	岡山県立総社南高校	3年	2
	岡山県立倉敷南高等学校	1年	2
	岡山県立岡山芳泉高等学校	1年	1
	岡山市立岡山後楽館高等学校	3年	1
広島県	AICJ高校	1年	2
	広島県立賀茂高等学校	3年	2
	広島県立安芸南高等学校	3年	1
	福山市立福山高校	2年	2
	崇徳高等学校	1年	2
	広島県立尾道北高等学校	2年	2
	広島県立尾道東高等学校	3年	1
	広島学院高等学校	2年	1
	広島県立沼田高等学校	2年	1
	尾道高等学校	2年	1
	広島文教女子大学付属高等学校	1年	1
島根県	島根県立情報科学高校	1年	1
	益田東高等学校	2年	1
	島根県立出雲高等学校	2年	1
鳥取県	倉吉北高等学校	2年	2

2018年度 海外視察等に関する支援・便宜供与実績

参加者総数: 398 名
実施回数: 25 件

行事名<団体名>	訪問国	海外渡航時期	参加者数	内容
広島なぎさ高等学校	パラオ	2018年7月	21	JICA在外事務所訪問 JICAボランティア面談
日本パラオ協会	パラオ	2018年8月	1	JICA在外事務所訪問
福山大学 経済学部	フィリピン	2018年8月	5	JICA在外事務所訪問
鳥取大学 マレーシアマラヤ大学英語研修	マレーシア	2018年9月	16	JICA在外事務所訪問
広島大学 STARTプログラム	タイ	2018年9月	25	JICA在外事務所訪問 JICAプロジェクトサイト視察
宇部工業高等専門学校	ネパール	2018年9月	5	JICA在外事務所訪問
鳥取大学 メキシコ海外実践教育プログラム	メキシコ	2018年9月	7	JICA在外事務所訪問 JICAプロジェクトサイト視察 JICAボランティア活動視察
岡山大学大学院環境生命科学研究科	ラオス	2018年12月	3	JICA在外事務所訪問 JICAプロジェクトサイト視察
グローバル人材育成事業実施協議会	タイ	2018年12月	26	JICA在外事務所訪問
岡山学芸館高校	カンボジア	2018年12月	24	JICA事業概要ブリーフィング
グローバル未来塾inひろしま	フィリピン	2019年1月	24	JICA在外事務所訪問
岡山大学大学院医歯薬学総合研究科	ベトナム	2019年2月	12	JICA在外事務所訪問
岡山大学 経済学部	ラオス	2019年2月	15	JICA在外事務所訪問
日本パラオ協会	パラオ	2019年2月	5	JICA在外事務所訪問 JICAボランティア面談
広島大学PEACEプログラム	カンボジア	2019年2月	22	JICA在外事務所訪問
広島修道大学 ベトナム交流学習セミナー	ベトナム	2019年2月	17	JICA事業概要ブリーフィング
盈進高校	ベトナム	2019年3月	60	JICA事業概要ブリーフィング
鳥取大学 マレーシアマラヤ大学英語研修	マレーシア	2019年3月	18	JICA在外事務所訪問
鳥取大学 ウガンダ海外実践教育プログラム	ウガンダ	2019年3月	16	JICA在外事務所訪問 JICA事業活動視察 JICAボランティア活動視察
広島大学たおやかプログラム	インド	2019年3月	33	JICA在外事務所訪問
鳥取大学 農学部	タイ	2019年3月	7	JICA在外事務所訪問
鳥取大学医学部 国際保健友の会 ハクナマタタ	タイ	2019年3月	10	JICA在外事務所訪問 JICAプロジェクトサイト視察
広島大学 STARTプログラム	ベトナム	2019年3月	24	JICA在外事務所訪問
島根県立大学 人間文化学部 准教授	ラオス	2019年3月	1	JICA在外事務所訪問
山口大学 経済学部 教授	タイ	2019年3月	1	JICA在外事務所訪問

2018年度 職業体験(インターンシップ)受入実績

参加者総数: 15 名
実施回数: 3 件

学校名	受入日	受入数
広島県立広島中学校	2018年10月2日～2018年10月4日	3
広島大学付属中学校	2018年11月1日	10
東広島市立西条中学校	2018年1月28日～2018年2月1日	2

海外記者派遣実績(2007年度～)

年度	派遣国	派遣期間	取材結果
2007年度	ガーナ	2007年7月30日～ 2007年8月12日	「教師海外研修40年～先生たちのガーナ見聞録～」(全3回)毎日新聞掲載
	ブルキナファソ タンザニア	2007年11月26日～ 2007年12月7日	「灼熱の地を開く～アフリカ支援の山陰人～」(全5回)山陰中央新報掲載
2008年度	ザンビア ブルキナファソ	2008年5月11日～ 2008年5月24日	「アフリカで支える 中国地方の協力隊員」(全5回)中国新聞掲載
	セントビンセント コスタリカ	2008年12月9日～ 2008年12月18日	「夢追い人を訪ねて 青年海外協力隊員に密着」(全5回)新日本海新聞掲載
2009年度	ケニア	2009年8月24日～ 2009年9月11日	「地球は宣言スペシャル『乾きゆく大地～二人の日本人女性が見たケニアの異変～』」(55分)広島ホームテレビ放映
2011年度	中国	2012年2月12日～ 2012年2月17日	「中国の中の宇部方式 ～貴州省安順市を訪ねて～」(全4回)宇部日報掲載
2012年度	ベトナム	2012年8月6日～ 2012年8月14日	「高床式の村 進む近代化」、「現地を体感 授業に生かす」中国新聞掲載 (教師海外研修同行記事)
2013年度	セネガル	2014年2月1日～ 2014年2月9日	「世界のためにできること」(全2回、約20分)KSB瀬戸内海放送
			「グローバル人材を求めて JICA中国セネガル調査から」(全3回)中国新聞掲載
2014年度	モザンビーク	2014年11月15日～ 2014年11月23日	「アフリカの片隅で ～モザンビークからの報告～」(全3回)山陰中央新報掲載
			「アフリカへ モザンビークの青年海外協力隊」(全3回)中国新聞掲載 「あふれる笑顔 伸び盛り 豊富な資源に投資活発」中国新聞(夕刊)掲載
2015年度	スリランカ	2015年7月9日～ 2015年7月16日	「進め！スポーツ元気丸」 「テレビ派」 「あなたの思いが世界を変える」 「スリランカ 野球で復興」 「赤ヘルじゃけん 野球で復興後押し スリランカに派遣へ」 「内戦後の地に平和の球音 カーブ野村前監督 スリランカで教室」 「カーブ野村前監督指導訪問 スリランカ復興後押し」
2016年度	モンゴル	2016年11月7日～2016 年11月14日	「みんなのニュース」(全3回、計約30分) 山陰中央テレビ
2017年度	派遣なし	—	—
2018年度	派遣なし	—	(8月派遣予定だったが、西日本豪雨災害のため派遣中止)

JICAボランティアによる「原爆展」開催実績

「原爆展」は、広島県出身の青年海外協力隊員の自主的な活動によって、2004年に中米のニカラグアで始まりました。その後、多くのJICAボランティアに引き継がれ、2019年3月までに、69カ国で、188回開催されてきました。JICA中国では、広島県国際協力推進員が窓口となり、広島平和記念資料館からの原爆展資料の貸出を行っています。

(1) 2018年度原爆展等の実施実績

合計 20 件

国名	実施時期	実施内容 隊員報告書から一言
カンボジア	2017年11月 ～2018年5月	ポスター展示／絵本の読み聞かせ／折鶴制作 <ul style="list-style-type: none"> ・当初は「広島・長崎の方は、73年前のことを何とか語り継いでいこうとこんなに努力しているのに、カンボジア人はたった20年前の内戦のことをもう忘れて、なんとかしなくては」という思いだった。しかし、内戦の記憶があまりに重くてまだ語れないだけかもしれない、と感じた。 ・広島在住のカンボジア人が初めて今回、自身の内戦体験を生徒たちに話してくれた。広島に住んでみて語る気持ちになったとのことだった。
マーシャル	2018年 4月～5月	ポスター展示／DVD上映／ワークショップ <ul style="list-style-type: none"> ・約1000人の来場者があった。 ・ほとんどの児童にとって初めて原爆について学ぶ機会になったようである。写真から見た原爆の被害は大きな衝撃を与えたようであった。 ・彼らが、平和について考え、将来世界のために立ち上がることのできる人材に成長してくれたらと思う。
モンゴル	2018年5月	ポスター展示／セミナー(DVD上映、被爆証言等)／折鶴制作 <ul style="list-style-type: none"> ・原爆投下の様子を描いたDVDは、小、中学生にとっては、刺激の強いものではないかと心配したが、子どもたちは集中して見ている姿が見受けられた。 ・セミナーや被爆者の証言体験が印象的と回答している方が多く、目標としていた「原爆展から平和を考える」ということは達成できたと考える。
セネガル	2018年5月～6月	日本紹介を含めた授業／ポスター展示／DVD上映 <ul style="list-style-type: none"> ・配属先長は広島を訪れたことがあり、本活動に最も興味と感心を寄せてくれた。 ・隊員の説明の後に、担任が重ねて説明してくれたことも、子どもたちの理解を促すのに非常に役立った。 ・当たり前だが、命の価値はこの国でも同じであると再確認できた瞬間だった。
バヌアツ	2018年6月	授業内での平和学習／DVD上映 <ul style="list-style-type: none"> ・平和な国バヌアツで原爆展を開催するにあたり、誤解を招いたり、子どもたちを怖がらせたりすることになるのではないかと当初は心配で迷いもあった。しかし、児童の反応や感想から、実施して良かったと考える。 ・現地の人々にとって今回の原爆展が「日本」をさらに深く知るきっかけとなり、住む国は違っても私たちは同じ地球の上で生きていること、「平和」「幸せ」とはなんであるのかを考えることなど、彼ら自身の生活や生き方について振り返る良い機会になった。
タンザニア	2018年7月～8月	ポスター展示／折鶴制作／日本文化紹介 <ul style="list-style-type: none"> ・積極的に説明や手伝いをしてくれる同僚の一面を見ることができて、とても良かった。 ・自分が受け持っている生徒たちが、来場者に対してガイド役となってくれた。彼らの成長を実感できたことがとても良かった。
ケニア	2018年7月～8月	ポスター展示／講義／DVD上映／折鶴制作 <ul style="list-style-type: none"> ・協力隊応募時に、友人の協力隊経験者から原爆展を任国で開催した話が非常に印象的で、私自身は広島・長崎出身ではないものの、学生時代から平和学習を受ける機会に恵まれており、赴任当初から原爆展開催は目標の一つであった。 ・この開催の過程で、協力者等を通して、私自身改めて任地で様々な方に支えられてもらっていること、任地の方々のつながりを意識できたことが新たな発見であった。
ベトナム	2018年9月	DVD上映／長崎出身隊員による講話／ポスター展示／絵本朗読／合唱 など <ul style="list-style-type: none"> ・司会進行やガイド役をベトナム人に任せたことで、主体的に取り組んでもらえ、スタッフにも原爆のことをしっかり学んでもらう機会になった。 ・生徒が多くの日本人と関わりを持つことで、「外国の出来事」という他人事ではなく、「目の前にいる人たちの国で過去に起こった出来事」として捉えられたのではないだろうか。
ケニア	2018年10月	DVD上映／ポスター展示／折鶴ワークショップ <ul style="list-style-type: none"> ・多様性や異文化について学ぶ機会の少ない任国において、平和や日本について伝えたいという思いが強くなり、活動でも訪問し、原爆展の開催のための絵本の翻訳でも協力してもらった教師のいるPrimary Schoolで開催した。 ・様々な場面で話し込み型の教育がメインの任国では、五感に訴えるような教育を通じた機会が非常に少ない。今後そのような機会が増え、現在彼らが持つ知識やスピーチ力、表現力に加え、想像・創造力が育まれれば、今まで以上に多様性についての理解を深めることができ、彼らの能力が活かされると改めて感じた。
エチオピア	2018年10月	青年海外協力隊員自主勉強会／ポスター展示／意見交換 <ul style="list-style-type: none"> ・同じ日本人でも長崎や広島で平和教育を受けてきた者と、それ以外の地域で育った者では、原爆に対してのイメージや内容についての理解が違うことを確認した。外国人であればなおさらだと思う。 ・尋ねられた時にしっかりと答えられるようにしていけたらよいという方向で、写真などの資料展示を行った。
カンボジア	2018年11月	ポスター展示／DVD上映／絵本読み聞かせ／折鶴制作 など <ul style="list-style-type: none"> ・開催地である小学校教員養成校は、卒業した学生のほぼ全員が州内の小学校に勤める。これから教員になる学生たちに向けてこの授業を行うことで、次世代にも原爆・戦争の恐ろしさや平和を願う気持ちを伝えることができると考え、開催に至った。 [来場者の感想] 「子どもたちに、皆で平和を守ること、平和を愛すること、自分の友達を愛することを伝えたい」

ガーナ	2018年11月	ワークショップ/DVD鑑賞/資料展示 <ul style="list-style-type: none"> ・ガーナ国内トップレベルの進学校であり、日本への研修もある当校で原爆展を開催し、今後ガーナ社会を変えていくであろう当校の生徒たちと共に日本への理解を深め、世界平和について考える機会を得られたことは、両国にとって意味のあることであったと考える。 ・生徒たちの感想からは特定の国や組織への批判ではなく、過去の出来事から学びを得て、これからの未来を創ろうとする姿勢が感じられ、私たちが意図したことを生徒たちが正しく受け止めてくれたことを知り安堵した。
タンザニア	2018年11月	ポスター展示と説明 <ul style="list-style-type: none"> ・対象は中等学校生徒100人で、年齢層は16歳～21歳ほど。ポスターを巡りながら、広島や長崎で起きたこと、人々へ与えた影響、日本人の原爆やアメリカに対する印象、核兵器が今の国際社会で果たす抑止の役割とリスクについて英語で説明を行った。広島について歴史で学習してきている生徒たちは、ポスターの写真に衝撃を受けるとともに、原爆の必要性について議論していた。
パナマ	2018年11月	パネル展示 <ul style="list-style-type: none"> ・任国内の各ボランティアが得意分野を活かして日本文化を紹介するというコンセプトで実施。広島出身である私は、広島の歴史や平和学習に関する展示を行った。 ・イベントの規模や来場者に対して、対応できるスタッフ数が少なく、全員が各ブースの掛け持ちをした。来場者と時間をかけて関わることができず、展示を見た人々が、どのように感じたのか、そんな疑問を抱いたのかなど、現地の人々の反応を確かめることが難しかった。
ガーナ	2019年2月	ワークショップ/DVD鑑賞 <ul style="list-style-type: none"> ・1発の爆弾でワ(開催地)に住んでいる人が全員死んでしまうのを想像できるか、を問うことを導入部分に設けた。 ・原爆の被害や歴史的な背景などは伝えたいところだが、放射線や病気のことや遠い異国の歴史を、予備知識なしで初めて聞いて理解するのは難しい。対象に合わせて内容を変更しようと思って臨んだが、もっと伝えたい内容を絞る必要があった。
中国	2019年12月中旬～	ポスター展示/日本語作文 <ul style="list-style-type: none"> ・漢族の学校であったことから中国国内の教育の影響を感じる作文が多かった。しかし、先生からは「平和は今、世界でのテーマでもあるので、やってみる価値はある」と賛同していただけた。本校の同僚は若い20代が多く、中国の若い世代には受け入れられる資料であり、テーマであることが分かった。 ・朝鮮族第一中学校で開催した際は、展示は良くないと言われたが今回許可を頂くことができた。年代又地域の違いを感じた。
カメルーン	2019年8月6日	ポスター展示/DVD上映/折鶴作成 <ul style="list-style-type: none"> ・当日は他の地域の隊員やKOICA(韓国のボランティア)の隊員にも協力してもらった。 ・カメルーンの一部地域では、ボコ・ハラムによる誘拐事件やテロ事件、英語圏独立を掲げる分離独立派と治安部隊との衝突が続発しており、多くの人々の命や生活が脅かされている。一度は全てを失った広島と長崎の街が復興を成し遂げ、現在は平和都市としてメッセージを発信し続けている姿がカメルーンの人々の心に届き、少しでも希望を与えられたらいいと思う。
ガーナ	2019年2月28日	ワークショップ/DVD上映/絵本朗読 <ul style="list-style-type: none"> ・導入時、2018年8月に広島で行われたリリーグサンフレッチェ広島対V.ファーレン長崎の試合前の写真を提示した。広島の選手の背番号は86、長崎の選手は89の背番号を背負っていた。まとめとして、導入の時に見せた写真を改めて提示し、背番号の意味が分かるか質問した。そうすると、多くの生徒が86と89の意味を理解してくれた。 ・前回中学生を対象として原爆展を行った際、生徒の反応を見ていると内容が難しすぎるであろうことがわかった。そのため、説明量をかなり減らした。今回が一番こちらの伝えたいことが伝わった感覚がある。
スリランカ	2018年7月22日	文化交流/タミル語人形劇/折鶴制作/グループワーク <ul style="list-style-type: none"> ・オープニングではお互いの文化に触れることを目的として、それぞれの国の踊りを披露した。私たちはソーラン節、子どもたちも素晴らしいダンスを見せてくれた。 ・折った鶴は後日子どもたちと一緒に紐通しをした。広島に持って帰って禎子さんの折鶴の塔に奉納することを話したら、みんな喜んで真剣に一羽一羽紐を通してくれた。
エジプト	2018年8月6日	ポスター展示/DVD上映/折鶴制作 <p>このように双方向で交流できるような形になれば、より一層資料を活用できるように思う。</p> <p>[来場者の感想]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・問題を問題のままにせず、立ち上がり解決していこうとした人々を誇らしく思う。 ・ヒロシマの出来事や復興から、わたしたち地球人は学ぶべきだ。 ・折鶴と一緒にすることができ、エジプトから届けられることが嬉しい。

(2)「原爆展」開催国数

年度	実施回数	開催国数	年度	実施回数	開催国数
2004～2008年度	58	55	2014年度	9	8
2009年度	11	10	2015年度	16	12
2010年度	18	15	2016年度	16	14
2011年度	9	9	2017年度	8	8
2012年度	9	7	2018年度	20	15
2013年度	14	12	計	188	165

※実施数は69カ国です。

主な関係団体(中国5県)

(1) 国際協力関連業務主管部課

県・市名	国際協力一般(青年海外協力隊含む)
鳥取県	観光交流局 交流推進課
島根県	環境生活部 文化国際課
岡山県	県民生活部 国際課
広島県	地域政策局 平和推進プロジェクト・チーム
広島市	市民局 国際平和推進部 国際交流課
山口県	観光スポーツ文化部 国際課

(2) 主な協力団体

県・市名	団体名
鳥取県	公益財団法人 鳥取県国際交流財団
島根県	公益財団法人 しまね国際センター
岡山県	一般財団法人 岡山県国際交流協会
広島県	公益財団法人 ひろしま国際センター
広島市	公益財団法人 広島平和文化センター
山口県	公益財団法人 山口県国際交流協会

(3) 青年海外協力隊OB会

団体名	代表者名	役職
青年海外協力隊鳥取県OB会	谷田 孝之	会長
島根県青年海外協力協会	天津 貴志	会長
青年海外協力隊岡山県OB会	近藤 英生	会長
青年海外協力隊広島県OB会	竹内 英祐	会長
青年海外協力隊山口県OB会	山尾 和宏	会長

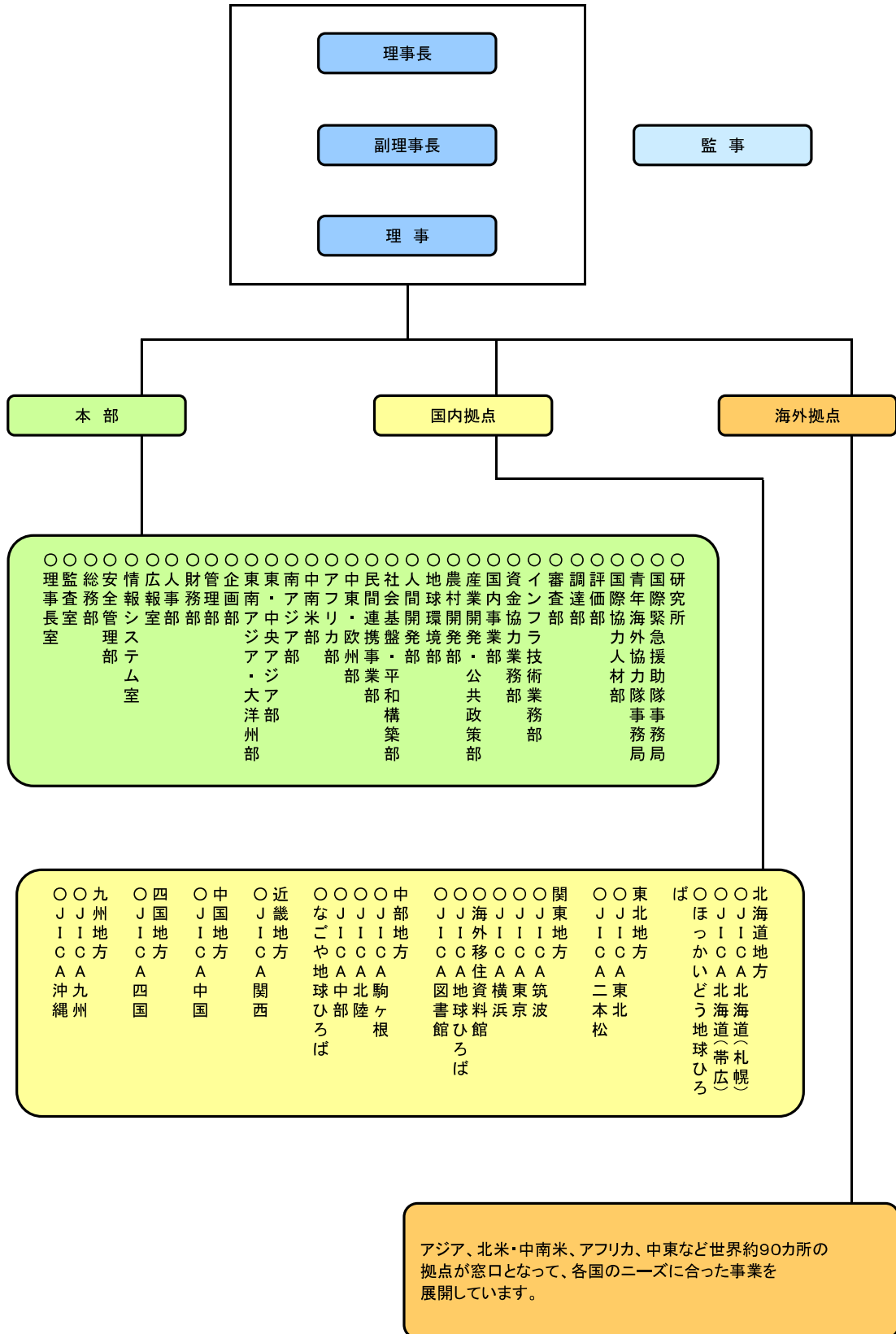
(4) 協力隊を育てる会

団体名	代表者名	役職
鳥取県協力隊を育てる会	八村 輝夫	会長
島根県青年海外協力隊を育てる会	田部 長右衛門	会長
岡山県協力隊を育てる会	末光 茂	会長
広島県青年海外協力隊を育てる会	上田 みどり	会長
山口県協力隊を育てる会	岩本 功	会長

(5) 民間連携関連業務主管部課

県名	民間連携関係
鳥取県	商工労働部 通商物流課
島根県	商工労働部 産業振興課
岡山県	産業労働部 産業企画課 マーケティング推進室
広島県	商工労働局 海外ビジネス課
山口県	商工労働部 新産業振興課

国際協力機構の組織図



JICA中国の沿革

(1) 事業の沿革

1954年から管轄地域内各県で実施されていた海外移住業務を、1964年7月に設置された国際協力事業団(JICA: Japan International Cooperation Agency)の前身である海外移住事業団広島県事務所が、各県海外協会から継承しました。

1965年から各県の協力を得て実施されていた青年海外協力隊業務は、国際協力事業団広島支部が設置された1974年8月から扱うこととなり、研修員の受入れ業務は、1981年から実施しています。

(2) 組織の変遷

<国際協力事業団設立以前>

1954年(昭和29年)	1月	財団法人日本海外協会連合会が東京に設立。
	3月	広島県及び鳥取県に海外協会が設立。その後、4月に岡山県、10月に山口県、11月に島根県と設立。
1962年(昭和37年)	6月	海外技術協力事業団(OTCA)設立。政府の技術協力事業を一元化。
1963年(昭和38年)	7月	海外移住事業団(JEMIS)設立。財団法人日本海外協力連合会の業務を継承。
1964年(昭和39年)	7月	JEMIS、都道府県に地方事務所開設。
1973年(昭和48年)	10月	JEMIS広島支部が設立。広島県、山口県及び島根県を管轄。岡山県及び鳥取県は、神戸支部が管轄。 山口県には更に駐在員事務所を配置。

<国際協力事業団>

1974年(昭和49年)	8月	国際協力事業団(JICA)設立。JEMIS広島支部は、JICA広島支部となる。
1978年(昭和53年)	9月	山口駐在員事務所が廃止。
1979年(昭和54年)	7月	JICA広島支部の担当地域に鳥取県及び岡山県が加わり、管轄が中国5県となる。
1980年(昭和55年)	4月	名称変更により広島支部は中国支部となる。
1996年(平成8年)	10月	中国支部を廃止し、中国国際センターを設立。
1997年(平成9年)	1月	東広島市鏡山の広島中央サイエンスパーク内に、JICAと広島県との共同施設「ひろしま国際プラザ」が完成。
	2月	中国国際センターを「ひろしま国際プラザ」に移転。

<国際協力機構>

2003年(平成15年)	10月	JICAは、独立行政法人化して「独立行政法人 国際協力機構」(英文名称は「JICA」のまま)となる。
2008年(平成20年)	10月	国際協力銀行(JBIC)のODA部門と統合、外務省の無償資金協力業務を承継し、一元的なODA実施機関となる。
2018年(平成30年)	7月	中国国際センターから中国センターに名称変更。

JICA中国の組織図・業務内容

